

瀬川小児神経学クリニック

10年のあゆみ

(昭和48年～昭和58年)

瀬川小児神経学クリニック

東京都千代田区神田駿河台2-8

(03-294-0371)

# 目 次

瀬川小児神経学クリニック開設にあたって	瀬川昌也	1
私と神経学	加瀬正夫	6
I. 診療活動		7
1. 診療内容		7
2. 検査内容		7
3. 院外診療活動		8
4. 集団検診・医療相談		8
5. 診療実績		11
II. 研究活動		15
1. 課題		15
2. 方法		15
3. 研究費助成		15
4. 研究班活動		16
5. 通産省委託技術開発研究		16
III. 教育活動		18
1. 学生教育		18
2. 講演		26
IV. 研究業績		32
1. 学会発表, 班会議 他		32
2. 著作		51
3. SNCC 学術集会		67
V. その他		73
1. 諸会		73
2. 図書		73
3. 名簿		74

# 瀬川小児神経学クリニック開設にあたって

院長 瀬川 昌也

私はこのクリニックを始めるにあたり、神経専門医療機関の存在の意義と、その基本方針を私なりに次のように考えた。

## I. 意義

1. 小児疾患の今後の傾向は、乳児死亡率減少、従来の一般小児疾患の減少とともに予防医学及び難治疾患の対策が中心問題となる。従って、行動異常児、精神障害児及び遺伝性進行性の中樞神経、あるいは神経筋疾患は小児科医にとって重要な問題の一つとなる。
2. 現在の時点においても、神経疾患の小児疾患のうちに占める位置は大きい。WHOの指針でも小児病院では3割は神経疾患であり、外来医の三分の一は神経専門医をおくべきとしている。本邦においても大学病院においては、外来患者の60~80%が神経疾患患者である。
3. 本邦において、小児神経学に興味をもつもの、あるいはそれを研究の中心テーマとする医師の数は2000名を越えるが、小児神経学の講座は鳥取大学脳神経小児科のみで、また小児神経医を育てる機関はない。従って、小児神経学をライフ・ワークとすることのできる人は、興味もっている人のなかで極めて一部のごく恵まれた人にすぎない。

また、一般病院では各種難治疾患を対象をするため、神経疾患患者が検査、あるいは治療のため専門医への受診・入院を必要としても、入院できるのは入院予約後数月から一年に及ぶことがしばしばである。

## II. 方針

1. 神経疾患は難治疾患が多く、現時点では、治癒は不可能であることを患者家族に納得させること、あるいはそれが遺伝性疾患である場合は、遺伝相談が“治療”にかえられている。これ等も重要なことであり、軽視できない医療行為ではあるが、我々の役割は、あくまで治療である。それには、現在難治である疾患の、より優れた、より本質をついた治療法を常に求める必要がある。従って、神経疾患を扱う場合、通常の診療と同時にこれ等疾患の本態を求める研究を行う必要がある。
2. この研究は、臨床家の立場で行う研究であり、あくまで治療に結びついたものであるので、

臨床的データの中からヒントを得、これに対し臨床医学的究明を行うとともに、基礎医学上の知見を臨床面に反映させ、更に病態解明に有用な基礎医学的研究の方向を示すよう努力することが必要である。

即ち、疾病の本態の究明には、臨床医学と基礎医学をトンネルの両側とし、互いに掘りすすんでいく態度が必要と考える。

3. 神経疾患の臨床、特に治療に関する臨床には一般の医学的治療、薬物治療に加えて、リハビリテーション（ハビリテーション）及び心理指導が必要であり、この三者が三本の柱となる。これには、医師、理学療法士、心理学専門者の三者が共同して患者にあたるが、三者とも治療の根底には、神経科学－Neuroscience－的考え方が必要である。
4. 基礎的研究面の進歩は、一般臨床医の片手間の研究ではついていくことができない段階にある。基礎医学専門医との共同研究を必要とする。これには、臨床及び基礎のシステム化したチームワークが必要である。

以上の観点より、医師、理学療法士、心理学専門家よりなる臨床チームと、基礎専門医及び臨床医よりなる研究グループとを主要構成人員とするクリニックを最終の目標とした。

一方、外来のみの診療でも、神経疾患の場合十分に意義あることは、私が東大小児科での8年間、神経外来を行った経験から確信があった。また、病院の名称を「小児神経学クリニック」とした。「科」とせず「学」を使ったのは前述のごとく、対象とする疾患のほとんどが真の意味での治療が不可能な疾患であり、診療はよりよい、あるいは真の治療法を見出すための研究的要素が多いものであること、及び、私の恩師の一人である順天堂大学脳神経内科教授、榎林博太郎先生の診療所である「神経科クリニック」が、元々は、「神経学クリニック」と命名される予定であったことを伺っていたことにもよる。また、ここで小児とは、小児期に発症するという意味であり、従来の年齢制限をおかないものとした。

かくして、昭和48年11月、医師は私、瀬川が一人、他に看護婦（斉藤サタノ）、薬剤師（長島富美子）、脳波検査（町田八重子）と事務担当（永松貢治）の5人の所帯で診療を開始した。その後、各方面からのご好意、ご理解により、10年目の現在では、研修医を含む常勤医師6名、看護婦4名、検査担当5名（電気生理学的検査3名、生化学的検査2名）、事務5名（医療事務・受付3名、経理事務2名）の常勤者20名と非常勤者として医師4名、電気生理学及び生化学検査指導者各1名、心理相談及び同検査2名、レセプト担当者1名が加わり、顔ぶれも豊富になり、活動範囲も広がってきた。

この順調な経過には、昭和50年10月に着任した現副院長の野村芳子の努力によるところが大であるが、これまで共に働いた各部門の担当者の労苦と、関係各方面のお力添えは忘れること

ができない。

診療、研究面では、開院間もない昭和49年4月より東大小児科より保坂暁子氏が参加され、不備な体制下で診療、研究に活躍していただいた。以後、谷村玲子、四宮範明、保坂シゲリの各氏がそれぞれ東京女子医大、東邦大学、東京医科歯科大学の小児科より研修も兼ねて約1年当クリニックの一員となった。その後、東大小児科小林 登教授、同常勤医会議、東邦大学小児科中山健太郎前教授、埴 嘉之教授、青木継稔教授、東京医科歯科大学矢田純一教授、岩川善英講師のご好意により、3カ月から6カ月、あるいは1年を1期間として若い医師が研修の目的で来院、また最近では、順天堂大学神経内科（榎博太郎教授）から小児神経学の研修に医局員が派遣されている。これ等の人達には、研修期間内に一般神経学的診療に参画していただくとともに、症例報告、あるいは特定の疾患、徴候の病態に関する研究に参加し、できれば自ら報告してもらうことを心づもりとしている。現在のところ研修期間の問題、入局後の期間の問題から、各人に十分な研修となったとは言いきれないが、若いエネルギーの参加は、病院に活力を与え、また、私どもにとっては「教えることは自ら教わること、教えること即ち学ぶこと」の言葉通り、クリニックとしての診療、研究の充実に益あるところとなっている。

昭和55年より関東通信病院を退官された加瀬正夫先生が参加され、神経内科部門を担当していただくことになった。これにより、先に記した小児期発症の疾患を成人、老年までという本来の目的にそう第一歩となり、同時に成人神経疾患を診る機会が増し、私共の神経学の勉強と視野を拓けることになった。さらに、加瀬先生のお人柄から我々の精神的にうけるところが大きく、無形の力となっているところを付記したい。

電気生理学的及び神経生理学的検査、主としてカテコラミン及びその代謝物質の測定は開院時より人を得て、優秀且つ熱心な検査技師諸兄姉の努力により、当クリニックの診療、研究のバック・ボーンとなっている。特に終夜ポリグラフ検査は文字通り深夜に及ぶ診療であるが、検査技師の積極的参加により頻回の検査が可能となっている。一方、これ等検査部門は、彦坂興秀氏（東大脳研生理、現東邦大学第一生理）、藤本正昭氏（聖マリアンナ大）、宮川富三雄氏（聖マリアンナ大、現 SRL 研究部門）の諸氏の努力で基礎が築かれた。藤本正昭氏の考案した体動探知器は、後述の心理担当グループにより臨床例に応用され、「乳児の睡眠中の体動の発達の研究」としてまとめられた。その後、東大脳研生理島津 浩教授、東邦大第一生理島居 鎮夫教授、前東京医科歯科大、現東大薬学部中島暉躬教授及び東大薬用植物園斉藤 洋助教授のご理解により、優秀な人材が非常勤コンサルタントとして我々の研究面をサポートしていただいている。

心理相談、心理検査は、お茶の水大学児童学科松井とし氏ほか同学科の研究生、東大教育学部上野一彦氏（現東京学芸大教授）及び旭出学園越智啓子氏により始められた。また、故鈴木

昌樹先生のご尽力で早大教育学部の修士過程の諸兄姉が実働面で活躍した。特に、後者のグループの望月伸子氏は、独自に睡眠覚醒リズム記録表（別表参照）を考案し、また、竹石正博氏、福本美紀子氏とともに、藤本氏考案の体動探知器を用い、他施設にて乳児の睡眠中の体動を検索した。前者、記録表による自閉症児の睡眠覚醒リズム異常の究明は、昭和58年度より始まった「自閉症の予防と治療に関する研究班」の発足の背景となり、また、後者の知見は（文献 Fukumoto et al. Brain and Development 13:37 1981参照）CAP システムの理論的根拠の一つとなった。

理学療法は、整肢療護園青山正征先生のご好意により、斉藤まり子、新藤泰子両氏により始められたが、私どもの準備不十分のため、昭和50年4月中断している。

以上のごとく、この10年を振り返ると、冒頭に述べた理想の姿にはなっていない。また後に記した学会発表、講演及び発表論文をみても、同一テーマの繰返しが多く、また、原著にまともでない研究の多いことは赤面の至りである。

しかし、外来診療のみの開業のクリニックが、学術的色彩を前景に出しながらこれまでやってこられたのは、先に挙げた各大学の諸教室のご理解とともに、入院を必要とする症例を気持ちよく受入れていただいた、東大小児科、東京医科歯科大学小児科、東邦大学小児科大森病院及び大橋病院、都立駒込病院、聖ルカ病院小児科、横浜市立大学小児科、眼科的及び耳科的検査のご協力をいただいた北里大学眼科石川 哲先生、井上眼科井上治郎先生、高木耳鼻科尾崎 将先生及び帝京大学耳鼻科加我君孝先生、特殊検査及び研究にご協力いただいた東京医科歯科大学小児科免疫学研究室（矢田純一教授、四宮範明先生）、順天堂大学放射線科（久留 裕教授、住江寛俊講師）、同脳神経内科（植林博太郎教授、佐藤猛助教授）、同脳神経外科（佐藤 潔助教授）、同麻酔科（里吉 光教授）、国立神経センター（埜中征哉室長、鈴木義之室長）のご好意によるところが大である。特に、陰になり日向になり、励ましとご助言をいただいた植林教授には心から感謝をしている。さらに、私どもの病院の方針に、患者サイドからご理解いただいた、日本てんかん協会（波の会）、筋無力症友の会、静岡県筋ジストロフィー症協会及び通院しておられる患者さんに感謝したい。

最後に、クリニックの担当者として誇りに思うことは、医師は勿論のこと、各部門に人を得たことである。各人個々の専門職としての自覚をもち、献身的に医療に取り組んでおり、どこに出しても恥ずかしくない人材である。この態度が、各方面に理解され、ご好意につながっていると自負している。各部門がそれぞれの責任を全うすることは、各々の内容を高めることになる。特に事務部門の充実は、直接患者さんに接する部門、特に医師を金銭面の細事、レセプト業務への負担を軽減し、診療、研究に専念することを可能にし、正に縁の下の力持ちの役割を果たしてくれている。

しかし、10年間、さらに東大時代を含めての18年間の診療で成人年齢に達した症例を多く診ているうちに、また特に加瀬先生の参加を得て成人、老年患者も診るようになってから、以前より心に感じていた小児神経学の中核である発達を理解するには、成熟した状態を熟知するとともに、老化の過程にも精通しなくてはならないことをあらためて感じた。即ち、発達の良否は成熟に影響を与えるとともに老化の良否にも関与する。従って、小児神経はLife-long-Neurologyの起始部としてとらえるべきであり、その診療の良否は、小児期の患者が、平均寿命を全うした後の判定も必要となる。私共の力に余るものであるが、それに基づいた診療体制の基盤となる philosophy をつくりたいと考えている。

今後の10年の課題は、冒頭に述べた方針に少しでも近づくことである。一方、医療を行うために必要なコメディカル (co-medical) の各部門が一それが専門職として、選抜試験で選考され、国家試験があるものでも一医療の中で正当な評価をうけていないことも重要な問題である。極めて現実的なこととなるが、現在の保険診療の上では、神経学専門医が当然行うべき診療行為が正しく認識されていないことは周知の事実であるが同様にこれ等コメディカルの各部門が、医療費の中に正当に評価されていないことに現れている。小児神経を専攻する医師が将来開業をするとき、また、総合病院の一部門として小児神経科を開設する上に重要な問題となってくる。小児神経学クリニックが開設できるのが私共だけとしてはならない。この問題の解決は一開業医の力を越えるものであるが、クリニックを構成する各部門担当者が、それぞれ各自の役割を自覚し、研究心をもって業務にあたり、専門職としての実績を出していくことが私共の役割ではないだろうか、次の10年に何等かの結論を出したいと考えている。

# 私 と 神 經 学

神経内科 加 瀬 正 夫

医学の暗黒野といわれていた神経学を生涯のテーマに選んだのは、神経学の巨匠がやむにやまれぬ情熱から選んだのではなく、海軍から教室に復帰して間もない頃主任の佐々教授から博士論文のテーマとして膝蓋腱反射の研究を指示されたのにはじまる。海軍で苦勞してきたのだからということで簡単なテーマを与えられたのだろう。仕事が終わってみると循環器、消化器、呼吸、血液、高血圧の各グループは活発に活動しているのに先代の呉教授以来の神経学は暗黒野として放置されていた。そこで反射グループの数名の者がそのまま神経を続けることになった。

正規の研究室は一杯で入りきれないので、廊研という名の廊下研究室で本を読み、犬を相手にささやかな実験をくりかえしていた。本といっても、Foersterの「Handbuch der Neurologie」しかなかった。やがて、進駐軍により開設された日比谷公園の図書館でアメリカの雑誌を読めるようになった。しかし自分の手で写すより他なかった。かくしてはじまった私の神経学の歴史は東大において7年、関東通信病院において28年、そして今当クリニックにおいて3年を経過しようとしている。牛尼さんという動物実験の名人がいて、東大でも関東通信病院でも大変お世話になり、その恩恵を決して忘れることができないと共に、当時の懐かしかった思い出が眼に浮かぶ。東大時代は脳波も筋電図も神代の時代で、筆とハンマーで病気を探るより他はなかった。その頃の神経疾患の少なからざるものが診断不明のままであった。関東通信病院時代は日本の高度成長期にあたり、私達も気持ちだけは大きく豊かに過ごすことのできたのは誠に幸いであった。

この間私が特に感銘を受け、影響を受けた業績は次のとおりである。

1. Magoun 一派の脳幹における意識の座の解明
2. Apallisches Syndrom, Akintic mutism の臨床病理学知見の拡充
3. Hornykiewicz, Barbeau らによるパーキンソン病の解明
4. Liveing, Sicuteri らによる偏頭痛のニューロン説セロトニン説の展開

なお私には神経学の他にもう一つ夢がある。それは釈尊の心を心とするという壮大な夢である。これは学生時代からの50年の夢であり、どうなるか私にもわからない。



## I. 診療活動

### 1. 診療—外来診療のみ—

- 1) 小児期発症の神経疾患, 神経筋疾患, 精神疾患についての臨床神経学的検査
- 2) 特殊疾患についての work up を目的とした診療
  - a. 自閉症その他行動異常
  - b. 脳基底核疾患 (ジストニア, 慢性多発性チック症, その他異常運動疾患)
  - c. 脊髄小脳変性症
  - d. 重症筋無力症
  - e. 小児期発症の神経筋疾患
  - f. 難治性年齢依存性てんかん (點頭てんかん, レンノックス症候群)
  - g. Dysraphia Syndrome

### 3) 他院依頼医師並びに専門職による特殊外来

- a. 染色体異常症 (日暮 真: 山梨医科大学保健学Ⅱ (公衆衛生) 教授)
- b. 言語外来 (杉下守弘: 東京都神経科学総合研究所副参事研究員)
- c. ITPA 検査, 教育相談, 心理相談, 言語相談 (越智啓子, 畑けいこ: 旭出学園)

尚, 当クリニックでは来院者の中, 乳幼児のほぼ全例, 情緒障害, 行動異常, 難治てんかん患者では年齢を問わず day by day plot 法により, 睡眠, 覚醒リズムのチェックを行っている。これは, 望月伸子氏考案の睡眠表 (別表参照) を使用している。

### 2. 検査 (当クリニックで行うもの)

- 1) 脳波
  - ・ 一般臨床脳波検査 (毎日)
  - ・ 視覚誘発脳波, 聴覚誘発脳波, 聴性脳幹反応
- 2) 筋電図
  - ・ 通常筋電図
  - ・ 誘発筋電図
- 3) ポリグラフ的終夜脳波, 筋電図 Polysomnography 検査 (瀬川小児神経学クリニック終夜脳波室にて実施)
- 4) 生化学的検査
  - ・ 抗けいれん剤血中濃度測定 (ガスクロマトグラフィー法)
  - ・ 尿中カテコラミン代謝物質 (薄層クロマトグラフィー法→高速液体クロマトグラフィー法)
  - ・ 血中アンモニア (酵素法→酵素法+アミテスト)

5) 免疫学的検査 (四宮範明：東京医科歯科大学小児科)

- ・ 末梢血 T 細胞分画
- ・ 抗アセチルコリン受容器抗体の測定

3. 院外診療活動

- 1) 藤枝市立志太総合病院小児科 小児神経外来 (昭和41年より毎月第4木曜日, 瀬川, 野村他2名担当)
- 2) 上田市小林脳神経外科病院 小児神経外来 (昭和53年11月より毎月第2火曜日, 瀬川又は野村他2名担当)
- 3) 横浜市立大学医学部附属病院 小児科神経外来 (昭和52年12月より毎月最終月曜日, 野村担当)
- 4) 神経科クリニック (昭和40年より瀬川, 次いで野村担当)  
(院長 榎林博太郎順天堂大学教授)
- 5) 東京逡信病院小児科 神経疾患コンサルタント (昭和49年より瀬川, 次いで昭和58年4月より野村担当)

4. 集団検診・医療相談


主として、下記団体よりの依頼による。

- 1) 静岡県筋ジストロフィー症協会
- 2) 重症筋無力症友の会
- 3) 波の会 (てんかん患者及びてんかん患者をもつ親の会)

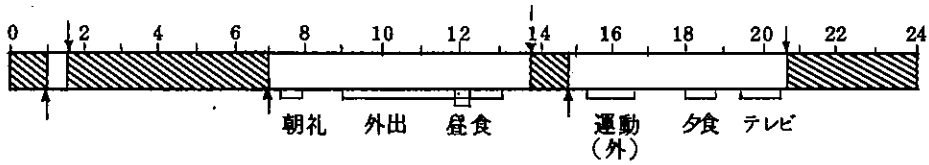
=睡眠記録表 記入の仕方について=

一枚の紙は、2週間分（14日）です。必ず毎日記入して下さい。

<時間記入>

- ・眠り始めた時刻 ↓
- ・起きた時刻 ↑（夜中目ざめた時も記入）
- ・眠っていた時間帯 
- ・起きている間の生活（食事、授乳、外出、遊び、運動、その他）（内容）

※記入例



<表の記入>

- |        |            |       |           |
|--------|------------|-------|-----------|
| ①ねおき   | ・機嫌よく起きた ○ | ②ねつき  | ・よかった ○   |
|        | ・悪かった ×    |       | ・悪かった ×   |
| ③ねぞう   | ・よかった ○    | ④ねがえり | ・多いと思う ○  |
|        | ・ふつう △     |       | ・ふつう △    |
|        | ・悪かった ×    |       | ・少ないと思う × |
| ⑤眠りの深さ | ・浅いと思う ○   |       |           |
|        | ・深いと思う ×   |       |           |

※記入例

朝のねおき	よる			ひるね			昼間の生活で気付いたこと、子供の状態いつもとかわったことなど	睡眠中の状態で特に気付いたこと（夜なき、夜尿、ねぼけ、いびき、はぎしり等）	備考		
	ね	ね	ねむりのふかさ	ね	ね	ねむりのふかさ					
○	×	△	○	○	○	○	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもより元気がなく静かだった。</li> <li>・食欲なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜泣き（夜中2時）</li> <li>・ふとんからはみ出してねていた（朝5時）</li> </ul>	



## 5. 診療実績

### 1) 院内診療活動

SNCC 1983

疾患別患者数

疾患名	患者数(%)	疾患名	患者数(%)
失語, 失行, 失理	24(0.2)	神経筋接合部疾患	138(1.3)
痴呆	9(0.1)	重症筋無力症	136
精神運動発達遅延	1149(11.1)	筋疾患代謝障害	191(1.0)
意識障害	12(0.1)	先天性代謝障害	25(0.2)
癲癇性疾患	3438(33.4)	神経内分泌疾患	36(0.3)
精神疾患	727(7.1)	脳血管障害	49(0.5)
自閉症	532	脳腫瘍	23(0.2)
情緒障害	344(3.3)	染色体異常	113(1.1)
睡眠障害	168(1.6)	ダウン症	94
頭痛	680(6.6)	奇形	209(2.0)
中枢神経感染症	121(1.2)	ディスラフィア症候群	135(1.3)
脳変性疾患	34(0.3)	自己免疫疾患	44(0.4)
脳基底核疾患	339(3.3)	外傷	562(5.5)
日内変動を示すジストニア	13	頭部外傷	549
パーキンソン病	12	出産時障害	423(4.1)
脊髄小脳変性症	27(0.3)	髄液循環障害	74(0.7)
間上類縁疾患	35(0.3)	神経眼科的疾患	267(2.6)
運動ニューロン疾患	40(0.4)	神経耳科的疾患	63(0.6)
遺伝性末梢神経疾患	20(0.2)	中毒	25(0.2)
その他の末梢神経疾患	69(0.7)	その他	119(1.2)

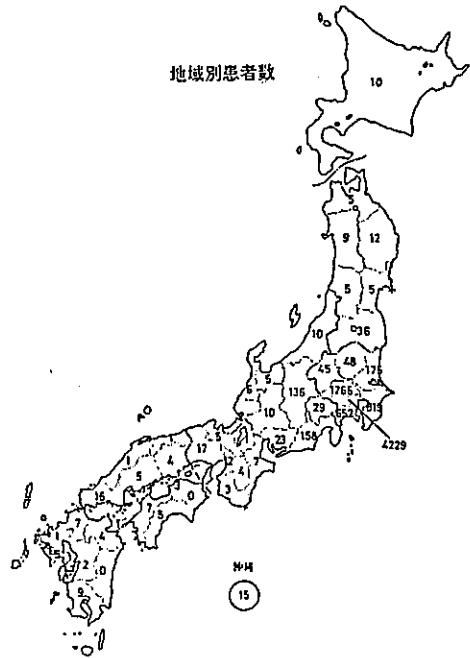
### 初診時年齢

年齢(歳)	総数(%)	男性	女性
0 - 5	3225(45.5)	1937	1288
5 - 10	2172(30.6)	1292	880
10 - 15	1055(14.9)	597	458
15 - 20	184(2.6)	91	93
20 - 25	71(1.0)	24	47
25 - 30	51(0.7)	18	33
30 - 35	67(0.9)	17	50
35 - 40	81(1.1)	24	57
40 - 45	71(1.0)	26	45
45 - 50	34(0.5)	7	27
50 - 55	21(0.3)	6	15
55 - 60	24(0.3)	9	15
60 - 65	14(0.2)	6	8
65 - 70	14(0.2)	7	7
70 - 75	7(0.1)	4	3
75 - 80	6(0.1)	5	1
80 - 85	2(0.0)	1	1

7099(100.0)

4071

地域別患者数



2) 院外診療活動

1975年

2/16	瀬川昌也 保坂暁子	草加地域筋ジストロフィー症 集団検診	埼玉県筋ジストロフィー症 協会主催
9/21	瀬川昌也	浜松市周辺筋ジストロフィー 症家庭訪問診察	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催
28	瀬川昌也	浜松市周辺筋ジストロフィー 症家庭訪問診察	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催
11/23	瀬川昌也	掛川市周辺筋ジストロフィー 症家庭訪問診察	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催

1976年

2/ 1	瀬川昌也	埼玉県障害難病協議会発会式 (東埼玉病院)	
29	瀬川昌也 野村芳子	東埼玉病院 (蓮田市)	埼玉県筋ジストロフィー症 協会主催

1977年

10/23	瀬川昌也 野村芳子	小児てんかん検診相談 (オリンピック記念館, 東京)	日本てんかん協会主催
11/13	瀬川昌也 野村芳子	筋ジストロフィー症検診 (下田市)	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催

1978年

1/22	瀬川昌也 野村芳子	筋ジストロフィー症検診 (三島, 御殿場)	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催
29	瀬川昌也 野村芳子	筋ジストロフィー症検診 (浜松市)	静岡県筋ジストロフィー症 協会主催

3/12 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
(沼津市) 協会主催

11/12 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
(下田市) 協会主催

1979年

2/ 4 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
野村芳子 (富士市) 協会主催  
四宮範明  
保坂シゲリ

11 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
野村芳子 (静岡市) 協会主催  
四宮範明  
保坂シゲリ

5/27 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
野村芳子 (静岡市) 協会主催  
四宮範明  
保坂シゲリ

1980年

2/24 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
野村芳子 (富士市) 協会主催  
四宮範明  
保坂シゲリ

6/ 1 瀬川昌也 筋ジストロフィー症検診 静岡県筋ジストロフィー症  
野村芳子 (富士市) 協会主催  
四宮範明  
保坂シゲリ

1981年

- |       |                               |                      |                      |
|-------|-------------------------------|----------------------|----------------------|
| 3/15  | 瀬川昌也<br>野村芳子<br>田辺雄三<br>小木曾正勝 | 筋ジストロフィー症家庭訪問<br>検診  | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |
| 6/14  | 瀬川昌也<br>野村芳子<br>田辺雄三<br>小木曾正勝 | 筋ジストロフィー症検診<br>(沼津市) | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |
| 11/29 | 瀬川昌也<br>野村芳子<br>田辺雄三<br>小木曾正勝 | 筋ジストロフィー症検診<br>(静岡市) | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |

1982年

- |       |                      |                      |                      |
|-------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 3/14  | 瀬川昌也<br>野村芳子<br>田中茂樹 | 筋ジストロフィー症検診<br>(富士市) | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |
| 11/23 | 瀬川昌也<br>野村芳子<br>田中茂樹 | 筋ジストロフィー症検診<br>(静岡市) | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |

1983年

- |      |              |                                 |                      |
|------|--------------|---------------------------------|----------------------|
| 1/30 | 瀬川昌也<br>野村芳子 | 筋ジストロフィー症検診<br>(富士市)            | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |
| 6/26 | 瀬川昌也<br>野村芳子 | 筋ジストロフィー症検診<br>(沼津市)            | 静岡県筋ジストロフィー症<br>協会主催 |
| 9/ 4 | 瀬川昌也         | 全国筋無力症友の会埼玉支部<br>総会, 医療相談会 (大宮) |                      |



## II. 研究活動

### 1. 課題

- 1) 小児期神経筋疾患の病態に関する研究—福山型先天性筋ジストロフィー症の研究を中心に—
- 2) 小児期重症筋無力症の病態と治療に関する研究
- 3) 點頭てんかん, レノックス・ガストウ症候群の病態に関する研究
- 4) 自閉症の病態・治療・予防に関する研究

### 2. 方法

- 1) 神経生理学的検索
- 2) 組織学的検索—東京大学病理学教室, 順天堂大学精神科, 東京大学分院小児科の協力による—
- 3) 睡眠機構の分析による橋・脳幹を中心とした神経核の動的解析
- 4) 免疫学的検索—東京医科歯科大学小児科の協力による—
- 5) カテコラミン・インドールアミンの動態の検索—聖マリアンナ医科大学精神科, 東京医科歯科大学難治研, 東京大学薬学部の協力による—

### 3. 研究費助成

- 1) 昭和50年 社会福祉法人全国心身障害福祉財団  
—ブレドニソロンの神経筋接合部に対する作用機序に関する電気生理学的研究に対して—
- 2) 昭和54年 協同システム開発株式会社  
—新生児・乳幼児の神経障害早期発見・治療サポートシステムに関するフ  
ィージビリティ・スタディーに対して—
- 3) 昭和54年 厚生科学研究費補助金（医療研究事業）  
—睡眠発達を利用した神経精神疾患の早期発見治療に関する研究に対して—

#### 4. 研究班活動

1977年

瀬川昌也（班員） 「筋ジストロフィー症の病因の究明」に関する研究班  
班長：沖中重雄（東京大学医学部内科教授）

1981～1982年

瀬川昌也（班員） 「母子相互作用の臨床的、心理・行動科学的ならびに  
社会小児科学的意義」に関する研究班  
班長：小林 登（東京大学医学部小児科教授）

1981～1983年

瀬川昌也（班員） 「乳児突然死症候群」－乳児突然死の神経学的研究－  
班長：馬場一雄（日本大学医学部小児科教授）

1983～1985年

瀬川昌也（分担班長） 「発達神経学的立場からみた自閉症の予防と治療」に  
関する研究班  
総班長：山下文雄（久留米大学医学部小児科教授）

1983～1985年

野村芳子（班員） 「母子相互作用の臨床応用」に関する研究班  
班長：小林 登（東京大学医学部小児科教授）

#### 5. 通産省委託技術開発研究

睡眠ポリグラフ法の半自動化システム（CAP:Computer Assisted Polysomnography）の  
技術開発について、医療機関の立場から協力している。

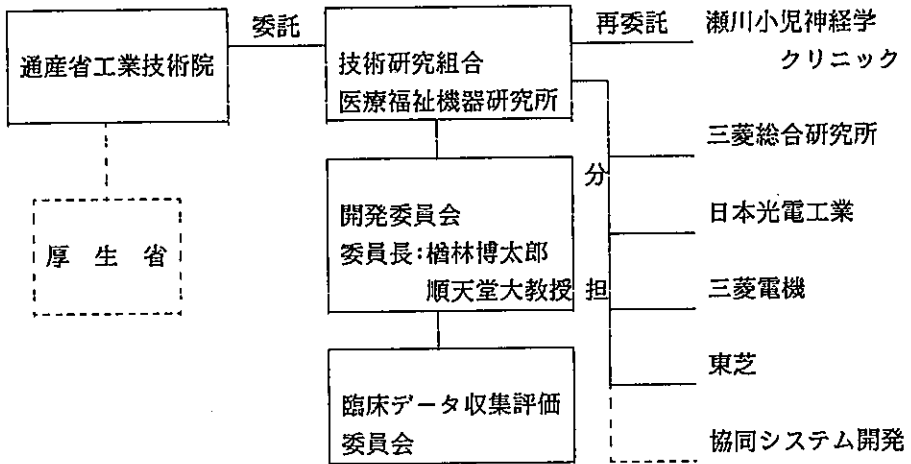
経緯 1) 昭和53年度「新生児・乳幼児の神経障害早期発見サポートシステムに関する  
調査研究」 協同システム開発株式会社に協力

- 2) 昭和54年度「新生児・乳幼児の神経障害早期発見サポートシステムに関するフィージビリティ・スタディ」 協同システム開発株式会社に協力
- 3) 昭和56年度国家プロジェクトとして取り上げられる。

テーマ名：神経障害診断・治療支援システムの研究開発  
 所轄官庁：通産省工業技術院技術振興課  
 開発期間：昭和56年度～昭和61年度（6年間）

当院は臨床実施機関として協力

技術開発のしくみと当院の協力



### Ⅲ. 教育活動

#### 1. 学生教育

##### 1) 系統講義 (担当: 瀬川昌也)

###### 1974年

2/ 7	ミオパチー	東京大学医学部2年
12	神経診断学	東邦大学医学部3年
5/17	筋疾患のリハビリテーション	東京大学医学部4年
23	ミオパチー	東京大学医学部2年
10/18	神経疾患	東邦大学医学部3年

###### 1975年

2/28	小児の脳波	東邦大学医学部4年
4/21	神経診断学	東邦大学医学部5・6年
9/12	小児筋疾患	東京大学医学部3年
10/30	筋疾患のリハビリテーション	東京大学医学部3年
12/ 5	神経筋疾患	東邦大学医学部4年
12	神経筋疾患	東邦大学医学部4年

###### 1976年

2/ 3	神経診断学	東邦大学医学部4年
10	神経診断学	東邦大学医学部4年
3/10	神経, 筋疾患	東京大学医学部2年
10/ 7	神経筋疾患のリハビリテーション	東京大学医学部3年

1977年

3/15	筋疾患	東京大学医学部2年
9/26	弛緩性麻痺	東邦大学医学部2年
10/ 6	神経筋疾患のリハビリテーション	東京大学医学部2年
21	神経疾患	東邦大学医学部2年
28	精神疾患	東邦大学医学部2年

1978年

2/14	筋疾患	東京大学医学部2年
3/ 1	リハビリテーション	東京大学医学部2年
10/ 7	Floppy infant	東邦大学医学部2年
20	神経疾患	東邦大学医学部2年
27	精神疾患	東邦大学医学部2年

1979年

2/20	筋疾患	東邦大学医学部2年
4/10	神経疾患	東邦大学医学部3年
17	精神疾患	東邦大学医学部3年

1980年

2/ 5	神経診断学	東邦大学医学部3年
7/11	筋疾患	東京大学医学部3年
11/14	神経疾患	東邦大学医学部4年

1981年

2/ 3	神経診断学	東邦大学医学部3年
7/ 2	小児期の筋疾患	東京大学医学部3年
10/20	神経筋疾患	東邦大学医学部4年

1982年

2/16	神経診断学	東邦大学医学部4年
7/ 2	小児の神経筋疾患	東京大学医学部
10/19	筋疾患	東邦大学医学部
11/30	精神医学	東邦大学医学部

1983年

2/15	神経診断学	東邦大学医学部3年
6/17	神経筋疾患	東京大学医学部2年

2) 臨床講義 (担当: 瀬川昌也)

1974年

5/13	Floppy infant	東邦大学医学部4年
10/25	精神疾患	東邦大学医学部3年
11/11	Status epilepticus	東邦大学医学部5・6年

1975年

6/23	脳変性疾患	東邦大学医学部4年
9/22	筋弛緩性麻痺	東邦大学医学部5・6年

1976年

5/10 運動器疾患 東邦大学医学部5・6年

9/27 痙攣重積症 東邦大学医学部5・6年

1977年

5/ 2 進行性脳疾患 東邦大学医学部5・6年

9/26 弛緩性麻痺 東邦大学医学部5・6年

1978年

6/19 痙攣重積症 東邦大学医学部5・6年

10/ 2 Floppy infant 東邦大学医学部5・6年

1979年

5/21 弛緩性麻痺 東邦大学医学部5・6年

10/ 8 進行性脳変性疾患 東邦大学医学部5・6年

1980年

4/14 痙攣重積症 東邦大学医学部3年

9/22 脳炎, 髄膜炎 東邦大学医学部5・6年

11/17 Floppy infant 東邦大学医学部5・6年

11/21 脳変性疾患 東邦大学医学部5・6年

1981年

6/15 脳性小児マヒ 東邦大学医学部3・4年

10/12 進行性脳疾患 東邦大学医学部3・4年

1982年

6/14	痙攣重積症	東邦大学医学部5・6年
11/ 1	中枢性マヒ	東邦大学医学部5・6年
15	Floppy infant	東邦大学医学部5・6年

1983年

10/ 3	進行性脳疾患	東邦大学医学部5・6年
-------	--------	-------------

3) セミナール (担当: 瀬川昌也)

1974年

10/ 7	小児の神経筋疾患 (1)	東京大学医学部3・4年
14	小児の神経筋疾患 (2)	東京大学医学部3・4年
23	小児の神経筋疾患 (3)	東京大学医学部3・4年

1975年

6/18	小児の神経筋疾患	東京大学医学部4年
25	小児の神経筋疾患	東京大学医学部4年
10/20	小児筋疾患	東京大学医学部 母子保健学科

1976年

5/24	小児の神経筋疾患	東京大学医学部 母子保健学科
------	----------	-------------------

1977年

1/28	小児の筋疾患	東京大学医学部3・4年
------	--------	-------------



2/16	小児の筋疾患	東京大学医学部3・4年
23	小児の筋疾患	東京大学医学部3・4年
3/ 2	小児の筋疾患	東京大学医学部3・4年
6/13	小児の神経筋疾患	東京大学医学部 母子保健学科

1978年

2/ 1	小児の神経筋疾患	東京大学医学部3年
2/15	小児の神経筋疾患	東京大学医学部3年
22	小児の神経筋疾患	東京大学医学部3年

1979年

1/24	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部3・4年
2/ 7	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部3・4年
2/14	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部3・4年
28	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部3・4年
6/11	小児期の神経精神疾患	東京大学医学部 母子保健学科

1980年

1/25	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部
2/ 8	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部
6/12	小児神経疾患診断法	東京大学医学部 母子保健学科

1981年

1/28	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部
2/18	小児期の神経筋疾患	東京大学医学部
7/ 6	小児神経疾患診断法	東京大学医学部 母子保健学科

1982年

2/10	発達神経学	東京大学医学部4年
6/28	小児神経疾患診断法	東京大学医学部 母子保健学科

1983年

1/26	発達神経学	東京大学医学部3・4年
2/ 9	Basal ganglia disease －発達神経学の立場から－	東京大学医学部3・4年
23	Psychological disorders －発達神経学の立場から－	東京大学医学部3・4年
6/27	小児神経学討論 小児神経疾患－見方と考え方－	東京大学医学部 母子保健学科

4) クルズス (担当: 瀬川昌也)

<u>1974年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
	筋電図	東京大学医学部4年
<u>1975年</u>	脳波, 筋電図	東京大学医学部4年
	脳波の読み方	東邦大学医学部6年

<u>1976年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1977年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1978年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1979年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1980年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1981年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1982年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年
<u>1983年</u>	小児期の臨床脳波	東京大学医学部4年
	小児期の臨床脳波	東邦大学医学部6年

5) その他 (担当: 瀬川昌也 他)

1983年

3/7~10

集中講義  
 発達神経学の立場からみた小児科学  
 - 自閉症の成因に関する考案 -

御茶の水女子大学児童  
 学科

## 2. 講演

### 1974年

3/ 9	瀬川昌也	小児重症筋無力症の特徴	重症筋無力症班会議 ワークショップ (野口記念館)
6/ 9	瀬川昌也	小児重症筋無力症	筋無力症友の会
9/23	Segawa, M.	Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal Fluctuation	Department of Neurology University of Freiburg (Prof. Janz)

### 1975年

6/15	瀬川昌也	小児重症筋無力症の最近の問題点—ステロイド療法—	重症筋無力症親の会 (東京)
10/ 4	Segawa, M.	Fukuyama type congenital Muscular Dystrophy	Neurological Department of Mc Master University (Prof. McComas)
13	Segawa, M.	Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal Fluctuation	Department of Pathology and Neurology West Virginia Univ. (Prof. S. M. Chou)
11/ 4	瀬川昌也	小児重症筋無力症	自治医科大学小児科学教室 (鴨下重彦教授)

### 1976年

3/ 6	瀬川昌也	小児重症筋無力症	臨床講演会 (埼玉県医師会)
5/12	瀬川昌也	小児神経学のトピックス	東京臨床小児歯科研究会
10/16	瀬川昌也	神経眼科と小児神経学	日本神経眼科学会

1977年

1/29	瀬川昌也	Floppy infant の原因と診断	埼玉県難病対策研究会
3/25	瀬川昌也	重症筋無力症	埼玉県筋疾患研究班会議
4/ 1	瀬川昌也	ミオパチーの臨床をめぐって	南山堂 (東京) (座談会)
16	瀬川昌也	Floppy infant 症候群	小児医学卒後ゼミナール
6/ 9	瀬川昌也	小児神経学と睡眠	北里大学眼科学教室 (石川哲教授)
10/22	Segawa, M.	Hereditary Progressive Dystonia with Marked diurnal fluctuation (discussion)	Department of Neurology Institute of Psychiatry (Prof. C. D. Marsden)
23	Segawa, M.	Fukuyama type congenital Muscular Dystrophy (lecture)	Hammersmith Hospital, London, England (Prof. V. Dubowitz)

1978年

10/ 3	Nomura, Y.	T-Cell subsets and childhood myasthenia gravis	West Virginia Univ. (Prof. S. M. Chou)
7	Nomura, Y.	Gilles de la Tourette syndrome in Oriental children	Mayo Clinic (Prof. M. Gomez)
7	Nomura, Y.	Fukuyama type congenital Muscular Dystrophy	Mayo Clinic (Prof. M. Gomez)
31	瀬川昌也	筋緊張低下症	日本短波放送
11/ 3	瀬川昌也	小児期重症筋無力症のステロイド療法	重症筋無力症患者の会

12/10	瀬川昌也	小児期ジストニアの病態の睡眠中の体動の特徴	神経科クリニック15周年記念講演会(榎林博太郎院長)
-------	------	-----------------------	----------------------------

1979年

4/14	瀬川昌也	小児期発症のてんかんに対する脳神経外科的療法の適応	長野県脳神経外科集団会 (上田市小林脳神経外科 小林茂院長)
------	------	---------------------------	--------------------------------------

12/ 3	Segawa, M.	Fukuyama type congenital muscular dystrophy	Prince of Wales Children's Hospital, Sydney Australia (Director, J. Beveridge)
-------	------------	---	---

	Segawa, M.	Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal fluctuation	同上
--	------------	---	----

5	祖父江逸郎 安藤一也 志水 彰 瀬川昌也 小林武夫	頭痛 (座談会)	メディカル・ニュース
---	---------------------------------------	----------	------------

15	瀬川昌也	臨床神経学のポイント —小児神経学の立場から—	メディカル・コア 卒後教育ゼミナール
----	------	----------------------------	-----------------------

1980年

2/13	瀬川昌也	情緒障害の神経機構	立川養護学校品川分校 (東京)
------	------	-----------	-----------------

8/ 6	瀬川昌也	痙攣罹患児の養護教育	波の会総会 (東京)
------	------	------------	------------

31	瀬川昌也	小児重症筋無力症の治療	筋無力症友の会総会(札幌)
----	------	-------------	---------------

9/19	瀬川昌也	CAP(Computer assisted Polysomnography) の理論 — Polysomnography の実際	CAP 委員会 (瀬川小児神経学クリニック)
------	------	---	------------------------

- |       |            |   |  |
|-------|------------|---|--|
| 11/29 | 瀬川昌也       | 自閉症児と水泳   | 大和学園スイミングスクール (大和市)  |
| 12/ 5 | Segawa, M. | Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal fluctuation | Informal discussion at Department of Neuropathology, Montefiore Hospital, New York (Prof. A. Hirano) |
| 9     | 瀬川昌也       | 福山型先天性筋ジストロフィー症   | 日本大学医学部小児科症例検討会 (北川照男教授)   |

1981年

- |       |      |                        |                               |
|-------|------|------------------------|-------------------------------|
| 2/15  | 瀬川昌也 | 小児自閉症の病態生理             | 熊本市江上小児科勉強会 (熊本市江上小児科 江上経宜院長) |
| 20    | 瀬川昌也 | 情緒障害, 知能障害児と睡眠         | 立川養護学校品川分校 (東京)               |
| 3/ 1  | 瀬川昌也 | 著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア | 神経科クリニックシンポジウム (楢林博太郎院長)      |
| 4/ 5  | 瀬川昌也 | てんかん性異常脳波と抗けいれん剤の選択    | 小児科セミナーシリーズ                   |
| 5/10  | 瀬川昌也 | 小児の重症筋無力症              | 筋無力症友の会 10周年記念大会              |
| 7/19  | 瀬川昌也 | 脳波検査の意義                | 波の会                           |
| 11/18 | 瀬川昌也 | 著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア | 鹿児島大学第3内科 (井形昭弘教授)            |
| 28    | 瀬川昌也 | 著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア | 自治医科大学神経内科 (吉田充男教授)           |

1982年

2/19	瀬川昌也	こどもの健康管理と病気への心構えー小児の神経学の立場からー	実務研修「心身障害教育」, 品川区 (品川区心身障害福祉社会館)
21	瀬川昌也	睡眠の機構とその発達ー小児神経・精神医学への応用ー	第94回日本小児科学会千葉地方会 第658回千葉医学会分科会 (千葉大学)
27	瀬川昌也	学習障害セミナー	国民年金中央会館
3/ 3	瀬川昌也	障害児の教育	立川養護学校品川 分校(東京)
10	瀬川昌也	心身障害幼児の扱い方について (医学の立場から)ー自閉症児を中心にー	長野県愛護協会通園部会聴覚研修会 (上田市 いずみ園)
5/ 1	瀬川昌也	言葉のおくれ 自閉症児の神経機構	神奈川県言語聴覚協会 (県社会福祉会館)
6/ 2	Segawa, M.	Hereditary Progressive Dystonia with Marked diurnal Fluctuation	Clinical conference of Neurological Group, Göteborg, Sweden (Prof. Hagberg)
20	瀬川昌也	小児科領域の睡眠障害ー睡眠の発達とその異常ー	メディカル・アカデミー (石垣記念ホール)
10/ 9	瀬川昌也	フロッピー・インファント	小児神経学セミナー
31	瀬川昌也	睡眠機構とその発達ーその小児神経学, 精神医学への応用ー	日本作業療法士協会 全国研修会 (東京)
11/14	瀬川昌也	小児年齢依存性てんかんの養育	てんかん協会
12/15	瀬川昌也	1) 情緒障害児の養育 2) てんかんをもつ小児の養育	長野県愛護協会通園部会聴覚研修会



1983年

2/16	瀬川昌也	言語機能発達に及ぼす皮質下神経系の役割	川崎市言語指導協会 (川崎市立東住吉小学校)
18	瀬川昌也	医学とコンピューター—睡眠機構の研究の医療面の貢献— 神経障害診断治療支援システムについて	厚生行政のためのコンピューター利用研究講座 (三菱総合研究所セミナー室)
3/ 1	瀬川昌也	脳神経障害児童生徒への教育配慮	神奈川県立高津養護学校 (川崎市)
24	瀬川昌也	Developmental Neurobiology とその現代社会における意義	国際医療都市発起人会 (東海大学同窓会館)
4/ 9	Nomura, Y.	Informal lecture on Hereditary Progressive dystonia with marked diurnal fluctuation	Graz, Austria (Dr. M. Haidvogel)
12	Nomura, Y.	Informal lecture on Hereditary Progressive dystonia with marked diurnal fluctuation	Lausanne, Swiss (Dr. T. Deonna)
23	野村芳子	小児神経疾患の診断について	言語聴覚協会 (横浜市健康福祉会館)
5/17	瀬川昌也	眠りとねざめ	NHK テレビ
7/30	野村芳子	小児の神経疾患について	神経科クリニック夏期講習 (榎林博太郎院長)
8/ 6	野村芳子	Rett 症候群	神経科クリニック集談会 (榎林博太郎院長)
9/ 3	瀬川昌也	小児期のジストニア	三多摩神経懇話会 (立川市小宮和彦会長)

## IV. 研究業績

### 1. 学会発表, 班会議 他

#### 1974年

2/ 8, 9	瀬川昌也, 水野美彦	小児重症筋無力症の免疫抑制剤療法及びプレドニン大量療法	厚生省重症筋無力症研究班 班会議
4/14	瀬川昌也	小児期重症筋無力症の治療	東京都難病班会議
6/ 3, 4	瀬川昌也, 保坂暁子 水野美彦, 野村芳子	著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア	第1回小児神経学研究会 (米子市)
	水野美彦, 吉田真理子 瀬川昌也	小児重症筋無力症に対するプレドニン大量療法 (第1報)	同上
	二瓶健次, 瀬川昌也 水野美彦, 水谷裕迪	小児重症筋無力症における細胞性免疫の研究	同上
7/13	瀬川昌也	中枢神経疾患における睡眠リズムと体動	脳のシンポジウム (東京)
12/ 7	瀬川昌也, 水野美彦	小児重症筋無力症に対する免疫抑制剤療法及びプレドニン大量療法	厚生省重症筋無力症研究班 班会議ワークショップ

#### 1975年

2/ 7	瀬川昌也, 水野美彦 保坂暁子	重症筋無力症のステロイド療法	厚生省班会議 (東京)
5/15	瀬川昌也	進行性ジストニアのカテコールアミン代謝	パーキンソン病懇談会 (大阪)
6/ 5, 6	宮川富三雄	著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニアのカテコールアミン代謝	第17回日本小児神経学研究会 (東京)
	瀬川昌也, 保坂暁子	小児神経疾患の電気生理学的研究 (第1報)	同上

	瀬川昌也, 谷村玲子	重症筋無力症のステロイド療法 —その作用機序を中心に—	第17回日本小児神経学研究会 (東京)
28	瀬川昌也	重症筋無力症のステロイド療法 —その作用機序を中心に—	東京都難病対策研究会議 (東京)
	瀬川昌也	小児ジストニアのカテコールアミン代謝	同上
30~7/4	Segawa, M.	On Body Movement during sleep of children with Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal fluctuation	2nd International Sleep Research Congress (Scotland)
9/ 6~10	Segawa, M., Mizuno, Y.	Fukuyama type congenital Muscular Dystrophy	1st International Congress on child Neurology (Tronto)
	Segawa, M., Nomura, Y.	Hereditary Progressive Dystonia with marked diurnal fluctuation	同上
14, 15	上野一彦	学習障害に関する症例研究—光源性てんかんを有する一卵性双生児の事例	第13回日本特殊教育学会 (仙台)
10/25	瀬川昌也	小児ジストニアの睡眠中の体動	第5回日本睡眠研究会 (東京)
11/16~21	Segawa, M., Tanimura, R., Hosaka, A., Hikosaka, O.	Prednisone in childhood Myasthenia Gravis : Electrophysiological Study of the Effects of Prednisone	4th Asian Oceanian Congress of Neurology (Bangkok)
22	横地房子, 野村芳子 保坂暁子, 瀬川昌也	DOWN 症候群に合併した点頭てんかんに対する L-DOPA 療法	点頭てんかん研究会 (東京)
12/ 6, 7	瀬川昌也	脳型先天性全身性関節拘縮症の一部検例	厚生省筋ジストロフィー症研究班会議 (東京)
	保坂暁子	福山型先天性筋ジストロフィー症の視覚誘発電位	同上

1976年

2/ 7	瀬川昌也	小児重症筋無力症に対するブレド ニン隔日大量療法 1) T-cell, B-cell の動態 2) 初期増悪時にクリーゼを起こ した一症例 3) 尿中カテコールアミン代謝物 質の変動について	厚生省重症筋無力症研究班 (東京)
4/27~29	瀬川昌也, 野村芳子 水野美彦, 鴨下重彦 長嶋和郎	大脳, 錐体路及び骨格筋に局限し た病変を有するいわゆる脳型先天 性多発性関節拘縮症の一部検例	第17回日本神経病理学会 (新潟)
5/19~21	宮川富三雄, 保坂暁子 野村芳子, 瀬川昌也 横地房子, 今井寿正	小児期ジストニアにおける L-DOPA 療法	第17回日本神経学会(東京)
6/16, 17	野村芳子, 谷村玲子 原 芳子, 宮川富三雄 瀬川昌也 他	捻転ジストニアの L-DOPA 療 法—その効果と頸症状, 尿中カテ コールアミン代謝物質との関係—	第18回日本小児神経学研究 会総会 (岡山)
	野村芳子, 望月伸子 原 芳子, 宮川富三雄 瀬川昌也 他	Gilles de la Tourette (Tourette) 症候群—臨床及び末梢カテコール アミン代謝の研究	同上
	望月伸子, 竹石正博 藤本正昭, 彦坂典秀 瀬川昌也	乳児の睡眠中の体動に関する研究 (1)	同上
	水野美彦, 大塚 晨 瀬川昌也 他	Giant axonal neuropathy の一例	同上
7/ 3	宮川富三雄, 原 芳子 谷村玲子, 野村芳子 瀬川昌也, 保坂暁子	點頭てんかん及び Lenox 症候群 のカテコールアミン代謝—尿中カ テコールアミン代謝物質の検討	第4回點頭てんかん研究会
11/18~20	瀬川昌也, 野村芳子 保坂暁子, 今井寿正	小児期ジストニアの睡眠中の体動 —頸筋罹患の有無と体動との関係—	第6回日本脳波筋電図学会 (福岡)

野村芳子, 加藤醇子 瀬川昌也, 横地房子	小児期ジストニアの眼球運動一類 筋罹患と眼球運動障害との関係一	第6回日本脳波筋電図学会 (福岡)
--------------------------	------------------------------------	----------------------

1977年

2/ 4	矢田純一, 瀬川昌也	小児期重症筋無力症における T 細胞 Subclass の異常及び免疫複 合体の意義について	厚生省重症筋無力症研究班
16	野村芳子, 瀬川昌也 鈴木昌樹	血中抗痙攣剤濃度 (PB 又は DPH) が高値を示す難治てんかんの臨床 的研究 (第1報)	厚生省小児神経疾患の成因 ならびに予後に関する研究 班
5/18~20	瀬川昌也, 野村芳子 八森 啓	小児期ジストニアの病態に関する 研究	第18回日本神経学会総会 (名古屋)
	水野美彦, 加我牧子 保坂暁子, 瀬川昌也 野村芳子	Coil Planet Centrifuge 法による 進行性筋ジストロフィー症患者の 赤血球膜浸透圧抵抗	同上
6/11~13	瀬川昌也, 野村芳子 八森 啓, 水野美彦 保坂暁子, 村上俊一	福山型先天性筋ジストロフィー症 の骨格筋病変に対する神経病変の 関与	第18回日本小児神経学会 (東京)
	瀬川昌也, 野村芳子 八森 啓, 井草幸夫 矢田純一, 新保敏和 他	小児重症筋無力症の臨床と T 細 胞 subsets の変動について	同上
	野村芳子, 加藤醇子 八森 啓, 藤本正昭 瀬川昌也	Gilles de la Tourette (Tourette) 症候群の眼球運動異常 - Dystonia 症候群と対比して-	同上
	野村芳子, 瀬川昌也 村上俊一, 水野美彦 保坂暁子, 周 焜明 他	福山型先天性筋ジストロフィー症 の中樞神経病理の再検討-感染説 について	同上
	保坂暁子, 野村芳子 瀬川昌也, 藤本正昭	先天眼振の電気生理学的研究 そ の1	同上

	竹石正博, 望月伸子 藤本正昭, 野村芳子 瀬川昌也	乳児の睡眠中の体動に関する研究 (2)	第18回日本小児神経学会 (東京)
	児玉和夫, 北住映二 榎本省子, 野村芳子 瀬川昌也	いわゆる Shuffling Baby の成因 に関する研究	同上
8/28~9/ 3	Nomura, Y.	Gilles de la Tourettes syndrome in Oriental Children	6 th World Congress of Psychiatry (Honolulu, Hawaii)
9/ 3~16	Segawa, M., Nomura, Y., Hachimori, K.	Studies on pathogenesis of childhood torsion dystonia	11 th World Congress of Neurology (Amsterdam)
	Segawa, M., Nomura, Y., Murakami, T., Chou, S. M.	Studies on Fukuyama type congenital muscular dystrophy	同上
10/29	八森 啓, 宮川富三雄 保坂暁子, 野村芳子 瀬川昌也	點頭てんかんの病態に関する研究 —各種治療剤の効果とそのカテコ ールアミン代謝及び睡眠リズムの 関係について—	第5回點頭てんかん研究会
11/14~16	竹石正博, 瀬川昌也 野村芳子, 望月伸子	乳児の夜間睡眠中の体動と発達	第7回日本脳波筋電図学会 (仙台)
12/ 3	野村芳子, 八森 啓 瀬川昌也, 保坂暁子	痙攣, 精神運動発達遅延, 脳梁形 成異常を示した乳児に認めた覚醒 ・睡眠リズムの異常	日本睡眠学会第11回定期学 術集会 (東京)
3, 4	瀬川昌也	先天性筋ジストロフィー症の病因 の究明に関する研究	厚生省筋ジストロフィー症 研究班
<u>1978年</u>			
1/14	瀬川昌也	Becker 型進行性型ジストロフ ィー症 (指定発言)	日本小児科学会東京地方会

28	瀬川昌也, 野村芳子	先天性筋ジストロフィー症の病因の究明に関する研究	厚生省筋ジストロフィー症研究班会議
4/ 5	Fukumoto, M., Mochizuki, N., Takeishi, M., Nomura, Y., Segawa, M.	Studies of Body Movements during night sleep in Infancy	18 th Annual Meeting of APSS (Stanford Univ., Palo Alto, Calif.)
	Nomura, Y., Hachimori, K., Hosaka, A., Segawa, M.	Abnormal Sleep - Wakefulness Rhythm found in an infant with seizure, Psychomotor Retardation and Agenesis of Corpus Collosum	同上
5/25~27	瀬川昌也, 野村芳子 水野美彦, 島田幸彦 宇尾野公義	Werdnig Hoffmann 病骨格筋病変の特異性 - 発症年齢, 経過, 前根病因説と対比して -	第19回日本神経病理学会学術研究会
27	福本美紀子, 竹石正博 望月伸子, 野村芳子 瀬川昌也	未熟児及び乳児の睡眠中の体動に関する研究	日本睡眠学会第2回定期学術集会 (大阪)
30~6/ 1	瀬川昌也, 野村芳子 四宮範明, 水野美彦 保坂暁子, 八森 啓	福山型先天性筋ジストロフィー症の中樞神経病変 - 痙攣発作, 脳波異常と運動障害との対比及び継時的変化	第19回日本神経学会総会 (東京)
5/30~6/ 1	八森 啓, 野村芳子 瀬川昌也	小脳失調症と L-5-hydroxytryptophan の効果	第19回日本神経学会総会 (東京)
	野村芳子, 瀬川昌也 八森 啓	Gilles de la Tourette 症候群 - 病態生理, 臨床, 治療に関する研究 -	同上
7/14, 15	福本美紀子, 竹石正博 望月伸子, 野村芳子 瀬川昌也	睡眠中の体動に関する研究 (3) - 未熟児を対象として -	第20回日本小児神経学会総会 (福岡)

	水野悌一, 太田令子 児玉和夫, 北住映二 峰島紀子, 竹石正博 瀬川昌也	Lesch Nyhan 症候群の自傷行動 —終夜ポリグラフによる検討—	第20回日本小児神経学会総 会 (福岡)
	野村芳子, 原 芳子 島尻奉子, 四宮範明	難治てんかん, 特に Lennox Gastaut 症候群の病態に関する研究	同上
	八森 啓, 野村芳子 原 芳子, 宮川富三雄 島尻奉子, 瀬川昌也	點頭てんかんとその近縁疾患の病 因に関する研究—特にカテコール アミン代謝について—	同上
	瀬川昌也, 野村芳子 原 芳子, 島尻奉子 宮川富三雄, 八森 啓	幼児自閉症の病態に関する研究 (第1報)	同上
	四宮範明, 及川公美子 野村芳子, 瀬川昌也	3代にわたり女性のみに発症した 成人型慢性脊髄性筋萎縮症	同上
	岩川善英, 丹羽利広 小木曾正勝, 壇てる子 瀬川昌也, 野村芳子	亜急性硬化性汎脳炎の終夜ポリグ ラフの検討	同上
9/10~14	Segawa, M., Nomura, Y., Hachimori, K., Shinomiya, N., Hosaka, A., Mizuno, Y.	Fukuyama type Congenital muscular dystrophy as one of the causative disorder of childhood epilepsy	Epilepsy International Symposium (Vancouver, Canada)
9/17~21	Segawa, M., Nomura, Y., Chou, S. M.	Studies on Fukuyama type congenital Muscular Dystrophy	4 th International Congress on Neuromuscular Disease (Montreal, Canada)
	Nomura, Y., Hachimori, K., Segawa, M., Yata, J.	T-Cell Subsets and Childhood Myasthenia Gravis	同上



10/30	瀬川昌也	重症筋無力症のステロイド療法 —小児科の立場から—	厚生省筋無力症研究班治療 ワークショップ
11/11	瀬川昌也	睡眠の病態生理—小児神経学の立 場から—	日本睡眠学会第3回定期学 術集会
24, 25	八森 啓, 野村芳子 四宮範明, 保坂暁子 保坂シゲリ, 鈴木 洋 原 芳子, 島尻奉子 瀬川昌也	小児の所謂年齢依存性てんかんの 尿中カテコールアミン代謝につい て	第12回日本てんかん研究会 (熱海)
	四宮範明, 野村芳子 八森 啓, 鈴木 洋 瀬川昌也, 水野美彦 保坂暁子	福山型先天性筋ジストロフィー症 の脳波及び臨床発作推移につい ての検討	同上

#### 1979年

1/27	矢田純一, 四宮範明 瀬川昌也, 野村芳子	MG 患者血清の Ach によるリン パ球の cyclic nucleotide 活性化 抑制作用	厚生省重症筋無力症調査研 究班会議
5/ 9~11	野村芳子, 四宮範明 保坂シゲリ, 鈴木 洋 井草幸夫, 瀬川昌也 八森 啓, 矢田純一	小児期重症筋無力症に対するステ ロイド療法の再検討	第20回日本神経学会総会 (東京)
5/17	野村芳子, 瀬川昌也	症候性ジストニアにみたうつ状態	マスクドデプレッション研 究会 (東京)
6/30	四宮範明, 野村芳子 八森 啓, 瀬川昌也	点頭てんかん, レンノックス症候 群のカテコールアミン代謝	点頭てんかん研究会(東京)
7/ 8, 9	鈴木 洋, 保坂シゲリ 四宮範明, 野村芳子 瀬川昌也, 八森 啓 岩川善英	睡眠中の体動—その臨床神経学的 意義	第21回日本小児神経学会総 会 (東京)

	四宮範明, 野村芳子 瀬川昌也, 矢田純一	重症筋無力症患者血清抗アセチル コリンレセプター抗体によるリン パ球機能障害について	第21回日本小児神経学会総 会 (東京)
	野村芳子, 保坂シゲリ 四宮範明, 鈴木 洋 瀬川昌也, 井草幸夫	重症筋無力症におけるテンシロン テスト前後の誘発筋電図の検索 —その臨床的有用性—	同上
	佐藤 潔, 桜田 修 下地武義, 石井昌三 斉藤 修, 瀬川昌也 野村芳子	中頭蓋窩くも膜のう腫の神経放射 線学的検討と外科的治療の適応に ついて	同上
27~31	Segawa, M., Suzuki, Y., Hosaka, S., Shinomiya, N., Hachimori, K., Hara, Y., Nomura, Y.	Infantile Autism—As a disorder of rhythm organization	3 rd International Congress of Sleep Research (Tokyo, Japan)
	Suzuki, Y., Hosaka, S., Shinomiya, N., Muraki, N., Nomura, Y., Hachimori, K., Iwakawa, Y., Niwa, T., Segawa, M.	Body movement during sleep— Their significance in childhood dystonia	同上
9/	四宮範明, 野村芳子 瀬川昌也, 矢田純一	小児重症筋無力症患者リンパ球 T-cell Suppressor 能と Helper 能	第7回日本臨床免疫学会 (札幌)
10/18~20	Shinomiya, N., Nomura, Y., Segawa, M., Yata, J.	Lymphocyte abnormalities in Myasthenia Gravis	Symposium on Myasthenia Gravis —Pathogenesis and Treatment— (Tokyo)

11/26	Shinomiya, N., Nomura, Y., Segawa, M.	Immunological Dysfunction in childhood Myasthenia Gravis	2 nd International Child Neurology Congress (Sydney)
	Mizuno, Y., Segawa, M.	High single alternative day prednisolone therapy for childhood myasthenia gravis	同上
	Nomura, Y., Suzuki, Y., Hosaka, S., Shinomiya, N., Segawa, M.	Studies on dystonia—Importance of Neck involvement patterns—	同上
	Segawa, M., Suzuki, Y., Hosaka, S., Shinomiya, N., Nomura, Y.	Pathogenesis of Infantile Autism	同上
	Segawa, M.	Symposium : Neurotransmitter Catecholamine Metabolism in a Neurological Disease in Childhood	同上

1980年

6/ 7	四宮範明, 館野昭彦 野村芳子, 瀬川昌也 石原伝幸	筋ジストロフィー症患者の末梢血 単核球の Con A 結合機能障害に ついて	第21回日本神経学会総会 (京都)
	野村芳子, 四宮範明 保坂シゲリ, 瀬川昌也 館野昭彦	チック, ジストニアにおける頸樞 患の重要性について—その病態, 治療と関連して—	同上
26, 27	鈴木 洋, 保坂暁子 瀬川昌也	點頭てんかんと REM 機構につい て	第22回日本小児神経学会総 会 (京都)

	岩川善英, 丹羽利広 豊田桃三, 小木曾正勝 高木秀二, 壇てる子 瀬川昌也, 野村芳子	Lennox 症候群の終夜睡眠ポリグラフに関する研究	第22回日本小児神経学会総会 (京都)
	瀬川昌也, 野村芳子 四宮範明, 保坂シゲリ 鈴木 洋	著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニアの病態に関する研究	同上
	野村芳子, 四宮範明 保坂シゲリ, 瀬川昌也	小児期重症筋無力症の末梢血Tリンパ球の変動と臨床像の相関	同上
	四宮範明, 野村芳子 瀬川昌也	小児重症筋無力症患者 TG 細胞 Killer 活性について	同上
	保坂シゲリ, 四宮範明 野村芳子, 瀬川昌也 佐藤 潔	痙攣-精神症状を伴った Calcified-Haemangioma とと思われる一例-痙攣-精神症状発現機序に関する研究	同上
	瀬川昌也	筋ジストロフィーに関する問題点概念及び分類	同上 (夜間集会)
30	四宮範明	重症筋無力症の免疫異常	厚生省重症筋無力症研究班
7/19	瀬川昌也, 四宮範明 保坂暁子, 野村芳子	自閉症児にみられる睡眠覚醒リズムの障害	日本睡眠学会第51回定期学術集会
10/17, 18	四宮範明	重症筋無力症の細胞免疫異常	厚生省重症筋無力症研究班 ワーク・ショップ
11/ 8	本多一恵, 四宮範明 野村芳子, 瀬川昌也 佐藤 洋	言語発達遅延で発症し, 焦点発作を併発した左前頭葉腫瘍の一例	第14回日本てんかん学会 (岡山)
	四宮範明, 本多一恵 野村芳子, 瀬川昌也	Dystonia を合併したてんかんに対する L-DOPA の効果	同上
20	野村芳子, 坂本光男 保坂シゲリ, 本多一恵 瀬川昌也, 井草幸夫	小児期重症筋無力症の筋終板機能検査法の検討-3種誘発筋電図法の比較検討-	第10回日本脳波筋電図学会 (名古屋)

12/2, 4	Shinomiya, N., Segawa, M., Yata, J.	In vitro study of T-Cell regulating Anti Acetylcholine Receptor Antibody formation in Myasthenia	International Symposium on Myasthenia Gravis (Tokyo)
---------	---	--	--

1981年

1/ 9	小木曾正勝, 坂本光男 本多一恵, 保坂シゲリ 野村芳子, 瀬川昌也	Prader-Willi 症候群の終夜ポリ グラフ的研究-	第6回日本睡眠学会定期学 術集会 (大津)
	野村芳子, 瀬川昌也 四宮範明, 長嶋和郎 田中 薫, 福岡和子 鈴木義之	進行性運動障害を主とした NiemanPick 病 C 型 (N・P-C) と 考えられる女兒	第22回日本神経病理学会学 術研究会 (福岡)
5/15	瀬川昌也	小児神経学における睡眠研究の意 義	第84回日本小児科学会学術 集会シンポジウム (徳島)
19	瀬川昌也, 野村芳子 四宮範明, 本多一恵 日原真理子, 小木曾正勝	著明な日内変動を呈する遺伝性進 行性ジストニア	第22回日本神経学総会 (熊 本)
	野村芳子, 瀬川昌也 四宮範明, 日原真理子 小木曾正勝	Gilles de la Tourette 症候群の病 態生理に関する研究	同上
29	Nomura, Y., Segawa, M., Hihara, M.	Gilles de la Tourette Syndrome in Oriental Children	1 st International Symposium on Gilles de la Tourettes Syndrome and related functions of the Central Nervous System (New York)
6/ 5, 6	本多一恵, 横山佳代 和田裕子, 小木曾正勝 野村芳子, 瀬川昌也 四宮範明	年齢依存性てんかんにおける血中 アンモニア値に関する検討 (第3報)	第23回日本小児神経学会総 会 (仙台)

	瀬川昌也, 野村芳子 四宮範明, 本多一恵 小木曾正勝, 水野美彦 加我牧子, 工藤周子 大内美南, 中里 豊	福山型先天性筋ジストロフィー症 (FCMD) に対するステロイド剤 の試み	第23回日本小児神経学会総 会 (仙台)
	野村芳子, 瀬川昌也 本多一恵, 小木曾正勝 加瀬正夫, 八森 啓	間歇性眼瞼下垂, 眼位異常, 失調, slow eye movement を主症状とす る一男児	同上
9/13	Segawa, M., Nomura, Y., Shinomiya, N., Suzuki, Y., Honda, K., Ogiso, M., Sakamoto, M.	Do Dopaminergic neurones modulate phasic motor activities (PMA) in REM sleep (sREM)	5 th International Congress of Electro encephalography and Clinical Neurophysiology (Kyoto, Japan)
19	Honda, K., Ogiso, M., Nomura, Y., Segawa, M., Sato, K.	The Importance of the Middle Fossa Lesion in Childhood Epilepsy	Epilepsy International Congress (Kyoto, Japan)
	Segawa, M., Nomura, Y., Shinomiya, N., Honda, K., Kase, M.	Hereditary progressive dys- tonia with marked diurnal fluctuation	12 th World Congress of Neurology (Kyoto, Japan)
9/19	Nomura, Y., Segawa, M., Hihara, M., Kase, M.	Gilles de la Tourette syndrome, its clinical and pathophysi- ological consideration	同上
	Shinomiya, N., Segawa, M., Yata, J.	In vitro study of T-cell regu- lating anti-acetylcholine receptor antibody formation in Myasthenia Gravis	同上

- 11/ 7 吉原幸子, 野村芳子 小児の頭痛—発達神経学的考察— 第9回頭痛懇談会  
 瀬川昌也, 小木曾正勝  
 加瀬正夫
- 19 野村芳子, 小木曾正勝 小児期クモ膜のう胞とてんかん 第15回日本てんかん学会  
 本多一恵, 吉原幸子 —中頭蓋窩病変の Epilep- (鹿児島)  
 五十畑順子, 瀬川昌也 togenesis について—  
 加瀬正夫, 佐藤 潔
- 小木曾正勝, 吉原幸子 幼児期に発症した Delayed Post- 同上  
 本多一恵, 野村芳子 traumatic Apoplexy の Epilep-  
 瀬川昌也, 塩田康夫 togenesis  
 豊田寛子

1982年

- 5/ 8 井川千鶴子, 野村芳子 睡眠の発達と無呼吸—未熟児の 第7回日本睡眠学会 (東京)  
 小木曾正勝, 瀬川昌也 Apnea について—  
 藤井トシ
- 26 Segawa, M. Clinical Pharmacology of 3rd International Child  
 Extrapyrarnidal Symptoms in Neurology Congress  
 Childhood Dystonia, Tics and (Copenhargen)  
 Chorea. (Symposium)
- 28 Segawa, M. Steroid Therapy on Fukuyama 同上  
 type Congenital Muscular  
 Dystrophy
- 6/10 田辺雄三, 井川千鶴子 Dysraphic state における臨床神 第24回日本小児神経学会  
 小木曾正勝, 野村芳子 経学的考察 (神戸)  
 瀬川昌也, 加瀬正夫  
 佐藤 潔
- 11 瀬川昌也, 井川千鶴子 小児自閉症の病態に関する研究そ 同上  
 小木曾正勝, 野村芳子 の2—橋縫線核の機能異常  
 加瀬正夫, 田中茂樹 —睡眠機構からの研究—  
 増本 義
- 小木曾正勝, 野村芳子 Prader—Willi 症候群の終夜睡眠 同上  
 井川千鶴子, 瀬川昌也 ポリグラフ的研究

	田中茂樹, 井川千鶴子 本多一恵, 小木曾正勝 野村芳子, 瀬川昌也 増本 義	乳児自閉症及び自閉症症候群の CT像 - Mesial Temporal Structures の変化について	第24回日本小児神経学会 (神戸)
	本多一恵, 野村芳子 小木曾正勝, 加瀬正夫 井川千鶴子, 瀬川昌也 三宅捷太, 竹広秀樹 木村清次, 三杉信子	持続性筋収縮を呈する症候群の一 男児例	同上
12	野村芳子, 井川千鶴子 小木曾正勝, 瀬川昌也 加瀬正夫, 四宮範明	小児期 MG の病態に関する研究	同上
6/19	野村芳子, 加瀬正夫 井川千鶴子, 瀬川昌也 小木曾正勝	約25年間にわたり抗コリン剤が奏 効した著明な日内変動を呈する遺 伝性進行性ジストニア (HPD) の 一例	第81回日本神経学会関東地 方会
9/17	Nomura, Y., Segawa, M., Ogiso, M., Igawa, C., Kase, M., Shinomiya, N.	Studies on Pathogenesis of Childhood Myasthenia Gravis	5 th International Con- gress on Neuromuscular Disease (Marseille)
17	井川千鶴子, 瀬川昌也 小木曾正勝, 野村芳子 加瀬正夫, 田中茂樹	小児自閉症のてんかん - その病態 生理について -	第16回日本てんかん学会 (札幌)
18	田中茂樹, 井川千鶴子 小木曾正勝, 野村芳子 瀬川昌也	結節性硬化症における回転運動発 作 - その病態生理について -	同上
10/28	本多一恵, 野村芳子 小木曾正勝, 加瀬正夫 井川千鶴子, 三宅捷太 竹広秀夫, 木村清次 三杉信子, 瀬川昌也	持続性筋収縮症候群 (Isaac 症候 群) の一男児例	第12回日本脳波筋電図学会 (鳥取)



10/29 野村芳子,坂本光男 Gilles de la Tourette 症候群 第12回日本脳波筋電図学会  
 小木曾正勝,本多一恵 (GTS) の polysomnographical (鳥取)  
 井川千鶴子,瀬川昌也 study

瀬川昌也,坂本光男 ジストニア症候群の Polysomno- 同上  
 井川千鶴子,本多一恵 graphy(PSG) -L-Dopa 有効例  
 小木曾正勝,野村芳子 と無効例の比較-  
 加瀬正夫

11/27 長谷川正子,野村芳子 いわゆる Rett 症候群 (gait aprax- 第83回日本神経学会関東地  
 米沢美保子,瀬川昌也 ia, autistic trait, stereotyped 方会  
 加瀬正夫 movement, mental retardation  
 を主症状とする進行性中枢神経疾  
 患)

1983年

2/12 瀬川昌也 Klein-Levin 症候群 (指定発言) 第329回日本小児科学関東  
 地方会 (東京医大)

18, 19 瀬川昌也 自閉症の病態生理に関する研究 「母子相互作用」研究班会  
 議 (後楽園会館)

22 瀬川昌也 睡眠発達と無呼吸一病的症例に関 「乳児突然死症候群」研究  
 する研究- 班会議 (日本大学)

5/12 米沢美保子,岡 七重 脳基底核の睡眠中の体動要素に対 第8回日本睡眠学会  
 坂本光男,多田博史 する影響 - polysomnographical (久留米市)  
 田中茂樹,野村芳子 (PSG) examination -  
 瀬川昌也

長谷川正子,多田博史 心身障害児の睡眠リズムとその発 同上  
 林原久美子,野村芳子 達 - Down 症候群と Prader-Willi  
 米沢美保子,瀬川昌也 症候群  
 日暮 真

多田博史,井川千鶴子 乳児突然死症候群の病態に関する 同上  
 米沢美保子,田中茂樹 研究一病的症例の終夜ポリグラフ  
 山下勝幸,野村芳子 (PSG) 的研究-  
 瀬川昌也

25	野村芳子, 米沢美保子 多田博史, 長谷川正子 瀬川昌也, 加瀬正夫 小木曾正勝, 田中茂樹	著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア年長例の検討—若年性パーキンソン・ジストニア症候群の異同について—	第24回日本神経学会総会 (京都)
	瀬川昌也, 米沢美保子 井川千鶴子, 野村芳子 加瀬正夫, 小木曾正勝 田中茂樹	錐体外路系疾患における終夜睡眠ポリグラフィー (Polysomnography)	同上
26	田中茂樹, 井川千鶴子 小木曾正勝, 野村芳子 瀬川昌也, 植林博太郎	結節性硬化症 (T.S.) の発作性回転運動— subependymal nodule の果たす役割とその DA 系への関与について—	同上
	後藤実千代, 野村芳子 米沢美保子, 瀬川昌也 井川千鶴子, 加瀬正夫 長谷川正子	小児, 成人片頭痛に対する propranolol 治験	同上
6/16	瀬川昌也	自閉症の病態に関する研究	「自閉症の予防と治療に関する研究」班会議ワーク・ショップ (後楽園会館)
7/ 7	野村芳子, 長谷川正子 米沢美保子, 多田博史 瀬川昌也	Rett 症候群の病態に関する研究—臨床神経学的 polysomnographical (PSG) study—	第25回日本小児神経学会総会 (自治医大)
	多田博史, 後藤実千代 米沢美保子, 野村芳子 瀬川昌也	頭痛とてんかん—病態の因果関係に関する研究—	同上
9	米沢美保子, 多田博史 長谷川正子, 野村芳子 瀬川昌也, 山下勝幸 田中茂樹	Myoclonus の病態に関する研究— polysomnographical examination—	同上
14	Segawa, M.	Pathogenesis of Early Infantile Autism	7 th World Congress of Psychiatry (Wien, Austria)

- |           |   |  |   |
|-----------|---|--|---|
| 21        | Segawa, M.  | Body Movements During Sleep in Movements Disorders, particularly in Dystonia, Tics, Chorea and Myoclonus | 4 th International Congress of sleep Research (Bologna, Italy) A Symposium on Movement Disorder and Sleep         |
|           | Segawa, M.,<br>Igawa, C.,<br>Ogiso, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Kase, M.                    | Polysomnographical Examinations of Dystonia Syndrome   | 同上  |
| 11/10, 11 | 伏島容子, 渡辺順子<br>永田映子, 袴田 享<br>野村芳子, 瀬川昌也<br>住江寛俊, 久留 裕                                  | 小児てんかんと側脳室下角異常<br>—その病態に関する研究—   | 第17回日本てんかん学会<br>(京都)  |
| 14        | Segawa, M.,<br>Igawa, C.,<br>Ogiso, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Kase, M.                    | Polysomnographical Examinations of Dystonia Syndrome   | 6 th Asian and Oceanian Congress of Neurology (Taipei, Taiwan)  |
| 17        | Tanaka, S.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.  | The subependymal nodules of tuberous sclerosis could cause dysfunction of dopaminergic system            | 6 th Asian and Oceanian Congress of Neurology (Taipei, Taiwan)<br>Symposium on Recent Advances in Child Neurology |
| 18        | Nomura, Y.,<br>Segawa, M.,<br>Hasegawa, M.,<br>Yonezawa, M.,<br>Tada, H.,<br>Kase, M. | Rett syndrome—a clinical and pathophysiological study—   | 1 st Conference of Asian and Oceanian Association of Child Neurology (Taipei, Taiwan)                             |
| 26        | 渡辺順子, 伏島容子<br>永田映子, 袴田 享<br>野村芳子, 瀬川昌也<br>加瀬正夫  | 片頭痛のインデラル療法 of 長期<br>予後  | 第11回頭痛懇話会 (東京)  |

12/ 1~ 3	永田映子, 岡 七重 坂本光男, 伏島容子 渡辺順子, 米沢美保子 袴田 享, 野村芳子 瀬川昌也	REM 期の急速眼球運動 (rem) と 骨格筋相性運動 (Twitch Movement)	第13回日本脳波筋電図学会 (奈良)
	永田映子, 岡 七重 坂本光男, 伏島容子 渡辺順子, 米沢美保子 袴田 享, 野村芳子 瀬川昌也	REM 期の急速眼球運動 (rem) と 骨格筋相性運動 (Twitch Movement): 頸筋 TM 数/ rem 数の検討	同上
	袴田 享, 永田映子 伏島容子, 渡辺順子 野村芳子, 瀬川昌也	筋ジストロフィー症 (MD) の電 機生理学的研究	同上
10	瀬川昌也	D- ペニシラミンと重症筋無力症 (指定発言)	第336回日本小児科学会東 京地方会

## 2. 著作

〈クリニック開設前〉

1967年

瀬川昌也, 福山幸夫 小児重症筋無力症における新抗コリンエステラーゼ剤 (Ubretid) の 日本小児科学会雑誌  
治験成績 75 (5) : 631-638

1968年

瀬川昌也, 兵頭行夫 筋萎縮を伴い抗 CHE 治療に抵抗 Proceedings Myasthenia  
竹内恵子 した一女兒例 - Ubretid により Gravis Symposium  
granurocytopenia をきたした一 vol. 1 : 67-71  
例 -

1969年

瀬川昌也 多発性筋炎 小児医学 2 : 307-334

瀬川昌也 多発性筋炎の病理 脳と発達 1 : 201-210

1970年

瀬川昌也, 二瓶健次 小児期神経筋疾患における 神経研究の進歩 14 : 527-  
waning および waxing 現象 532

瀬川昌也 先天型筋ジストロフィー症 (知能 脳と発達 2 : 439-451  
障害, 顔面筋罹患を伴う関節拘縮  
型先天性筋ジストロフィー症) の  
臨床的研究

1971年

瀬川昌也 先天型筋ジストロフィー症 (知能 脳と発達 3 : 21-36  
障害, 顔面筋罹患を伴う関節拘縮  
型先天性筋ジストロフィー症) の  
生検筋における組織学的, 組織化  
学的及び電子顕微鏡学的研究

- 瀬川昌也 数地域に多発した視力障害例の臨床神経学的研究 日本医事新報 2453 : 43-47
- 瀬川昌也, 近江一彦  
伊東 繁, 青山正征  
早川 浩 L-DOPA が著効を呈した小児基底核疾患—著明な日内変動を伴った遺伝性進行性基底核疾患 診療 24 : 667-130
- 瀬川昌也 数地域に多発した視力障害例に関する臨床神経学的研究 (大阪府泉佐野地域例を中心として) 眼科臨床医報 65 : 407-412
- 瀬川昌也 小児重症筋無力症の2,3の特徴(1) 小児期重症筋無力症の脳波所見 神経研究の進歩 15 : 877-881
- 瀬川昌也 小児重症筋無力症の Cholinergic crisis について 神経研究の進歩 15 : 873-876

1973年

- 瀬川昌也 重症筋無力症 '73 年における現況 「薬物療法の副作用」抗 CHE 剤の長期投与の場合—特に神経筋終板の問題— 日本臨牀 31 : 364-369
- 瀬川昌也 筋疾患の診断法の進歩 「現代小児科学大系年刊追補 '72- b」 中山書店 東京 pp 2-51
- 瀬川昌也 小児の神経筋疾患 「筋肉病学」里吉啓二郎, 豊倉康夫編 南江堂 東京 pp 510-571
- 瀬川昌也 小児重症筋無力症—潜在性全身型— 内科 31 : 1222-1226
- 瀬川昌也, 野村芳子  
水野美彦 小児の睡眠中の体動について—特殊疾患「著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア」患者を中心に 臨床脳波 15 : 727-736

- |  |   |   |
|--|---|---|
| 瀬川昌也, 水野美彦<br>伊藤 清, 宇尾野公義                            | 先天性多発性関節拘縮症候群                                   | 脳と発達 5 : 453-467  |
| Segawa, M.,<br>Tanaka, A.,<br>Aoyama, M.,<br>Uno, M. | Hereditary Progressive Basal<br>Ganglia Disease | Neurology India -<br>proceeding Third Asian<br>and Oceanian Congress<br>of Neurology XX<br>Supl. IV 610-623 |
| 瀬川昌也   | 小児期重症筋無力症の治療-免疫<br>抑制剤及びプレドニン大量療法を<br>中心に-      | 小児科診療 36 : 1200-<br>1205  |

<クリニック開設後>

1974年

- |  |   |  |
|--|---|--|
| 瀬川昌也   | 第10回国際神経学会に参加して   | 脳波と筋電図 2 : 215-216   |
| 瀬川昌也, 福山幸夫   | 小児多発性筋炎の臨床的研究   | 厚生省特定疾患強皮症皮膚<br>筋炎及び多発性筋炎調査研<br>究班 昭和48年度研究業績<br>集   |
| 瀬川昌也, 平山宗宏   | 小児重症筋無力症について  | 昭和48年度特殊疾病(難病)<br>に関する研究報告書 東京<br>都衛生局委託研究   |
| Segawa, M.,<br>Mizuno, Y.,<br>Itoh, K.,<br>Uno, M. | Neuropathic and Myopathic<br>arthrogryposis multiplex<br>congenita "International<br>congress series No. 295" | Clinical Studies in<br>Myology pp 283-301,<br>ed. B. A. Kakulas, Excerpta<br>Medica, Amsterdam |
| 瀬川昌也   | 病的症例の分析-脳性小児麻痺を<br>中心として-   | 神経研究の進歩 18 : 745-<br>748   |

1975年

- |      |  |  |
|------|--|--|
| 瀬川昌也 | パーキンソニズムの特異例-著明<br>な日内変動を呈する遺伝性進行性<br>ジストニア- | 「錐体外路系疾患の基礎と<br>臨床」佐野豊, 宇尾野公義<br>編 医学書院 東京 pp<br>127-139 |
|------|--|--|

小林 登, 水野美彦 瀬川昌也, 保坂暁子 彦坂興秀, 谷村玲子 矢田純一	1) 小児重症筋無力症に対するブ レドニソロン大量療法—電気生 理学的研究— 2) 小児重症筋無力症に対するブ レドニソロン大量隔日療法 (第 2報) ブレドニソロン減量ない し中止後の臨床的観察	厚生省特定疾患重症筋無力 症調査研究班 昭和49年度 研究報告書
瀬川昌也	小児中枢神経疾患における睡眠リ ズムと体動	神経研究の進歩 19 : 743— 750
瀬川昌也	ジストロフィー症とその他の類似 疾患の診断, 病因, 病理, 遺伝	理学療法と作業療法 9 : 501—515
瀬川昌也	歩行障害からみた鑑別診断の要点 と治療—筋ジストロフィー症	治療 57 : 2370—2378
瀬川昌也	先天性筋ジストロフィー症	神経内科 3 : 199—208

1976年

瀬川昌也	小児重症筋無力症に対するブレド ニソロン隔 日大量療法 1) T-cell, B-cell の動態 2) 初期増悪時クリーゼを起こし た一症例 3) 尿中カテコールアミン代謝物 質の変動について	厚生省特定疾患重症 筋無力症調査研究班 昭和50年度研究報告書
瀬川昌也	先天性筋ジストロフィー症	神経研究の進歩 20 : 68— 80
瀬川昌也	Luft 病	medicina 13 : 2138—2140

1977年

矢田純一, 瀬川昌也	重症筋無力症における免疫異常, 特に T 細胞 subset の変動につ いて	厚生省特定疾患重症筋無力 症調査研究班 昭和51年度 研究報告書
------------	---	--



瀬川昌也	小児の重症筋無力症	埼玉医学会雑誌 10 : 203-204
瀬川昌也	小児の多発性筋炎	神経内科 7 : 294-303
瀬川昌也	血中酵素	小児内科 9 : 719-725
瀬川昌也	小児の脊髄疾患をめぐる問題 Werdig-Hoffmann 病の病態に 関する再検討 - Chou 等の前根病 変説を中心に -	小児科 18 : 439-445
田辺 等, 瀬川昌也 室 隆雄	ミオパチーの臨床をめぐって (座談会)	治療 59 : 1557-1576
瀬川昌也	Leyden-Moebius 症候群	日本臨牀 32 (増) 534-535
大沢真木子, 水野美彦 瀬川昌也	筋 : 生検材料のとり方	臨床検査 21 : 1192-1194
大沢真木子, 水野美彦 瀬川昌也	筋電 : 患児検査	臨床検査 21 : 1274-1281
四宮範明, 青木継稔 瀬川昌也	點頭てんかんを伴った先天性風疹 症候群の一例	小児科臨床 30 : 1696-1700
瀬川昌也	福山型先天性筋ジストロフィー症 の病因の究明に関する研究	厚生省筋ジストロフィー症 の病因の究明に関する研究 昭和52年度研究報告書 pp 285-288

1978年

瀬川昌也	先天性筋ジストロフィー症 (福山型)	日本臨牀 36 (増) 1758-1759
Takeishi, M., Mochizuki, N., Fujimoto, M., Nomura, Y., Segawa, M.	A Study of Body movement during Sleep in Normal Infant (Part 2)	Brain and Development 3 : 123 (abstract)

Hosaka, A., Fujimoto, M., Nomura, Y., Segawa, M.	Electrophysiological Studies on Congenital Nystagmus I. Visual Evoked Potential (VEP)	Brain and Development 3 : 127 (abstract)
Kodama, K., Kitazumi, E., Enomoto, S., Nomura, Y., Segawa, M.	Study of the Cause of so called Shuffling Infants. No. 1	Brain and Development 3 : 138 (abstract)
Nomura, Y., Hachimori, K., Segawa, M.	Ocular movements in Gilles de la Tourette syndrome—In Contrast to Childhood Dystonia—	Brain and Development 3 : 259 (abstract)
Segawa, M., Nomura, Y., Hachimori, K., Yata, J., Shimpo, T., Mizuno, Y., Hosaka, A.	Subsets of Peripheral T-Lymphocytes of Childhood Myasthenia Gravis (MG)	Brain and Development 3 : 268 (abstract)
Segawa, M., Nomura, Y., Hachimori, K., Mizuno, Y., Hosaka, A., Konishi, Y., Murakami, T.	Muscle Pathology of Fukuyama Type Congenital Muscular Dystrophy—Possible Effects of CNS Pathology	Brain and Development 3 : 275 (abstract)
Nomura, Y., Segawa, M., Chou, S. M.	Reappraisal of Central Nervous System Pathology of Fukuyama type Congenital Muscular Dystrophy—On infectious theory	Brain and Development 3 : 275 (abstract)
瀬川昌也	Floppy infant の原因と診断 — floppy infant に含まれる疾患と その病因に関する研究—	埼玉医学会雑誌 11 : 97— 106

野村芳子	New Vistas in Gilles de la Tourette Syndrome	脳と発達 10 : 340-342
瀬川昌也	Congenital Myotonia	神経内科 8 : 441-448
野村芳子	チック	小児科診療 41 : 1382-1386
瀬川昌也	重症筋無力症の救急処置	小児外科/小児内科 1 : 258-261
Fukumoto, M., Mochizuki, N., Takeishi, M., Nomura, Y., Segawa, M.	Studies of Body Movements during night sleep in normal infant	Sleep Research 7 : 130
Nomura, Y., Segawa, M.,	Abnormal Sleep-Wakeful Rhythm Similar to FreeRunning seen in an Infant with Agenesis of Corpus Callosum	Sleep Research 7 : 310

1979年

瀬川昌也	Von Recklinghausen 病	小児内科 11 : 491-495
水野美彦, 瀬川昌也 鈴木昌樹, 鈴木義之 鴨下重彦	若年性異染性白質ジストロフィーの一例	脳と発達 11 : 59-64
瀬川昌也	Leigh 症候群	臨床医学 5 : 1704
瀬川昌也	小児自閉症	神経精神薬理 1 : 189-206
Segawa, M., et al.	Fukuyama type congenital muscular dystrophy as a natural model of childhood epilepsy	Brain and Development 1 : 113-119
Nomura, Y., Segawa, M.	Gilles de la Tourette Syndrome in Oriental Children	Brain and Development 1 : 103-111

- |  |  |   |
|--|--|---|
| Segawa, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Mizuno, Y.,<br>Hosaka, A.,<br>Hachimori, K.                    | Studies on Pathogenesis on<br>Fukuyama type Congenital<br>Muscular Dystrophy | Proceeding of Muscular<br>Dystrophy group 1978 an-<br>nual meeting pp 114-115 |
| 瀬川昌也   | Sydenham 舞蹈病   | 「神経病学」里吉營二郎,<br>椿忠雄, 祖父江逸郎編 pp<br>金原出版 東京 270-272                             |
| 瀬川昌也, 野村芳子   | ジストニア症候群   | 「神経病学」里吉營二郎,<br>椿忠雄, 祖父江逸郎編 金原<br>出版 東京 pp 272-275                            |
| 瀬川昌也   | Reye 症候群   | 「神経病学」里吉營二郎,<br>椿忠雄, 祖父江逸郎編 金原<br>出版 東京 pp 847-850                            |
| 四宮範明, 瀬川昌也<br>野村芳子, 矢田純一   | 重症筋無力症患者血清 (抗コリン<br>レセプター抗体による) リンパ球<br>機能障害作用について                           | 臨床免疫 11 : 846-854   |
| Nomura, Y.,<br>Hara, Y.,<br>Shimajiri, T.,<br>Shinomiya, N.,<br>Hachimori, K.,<br>Segawa, M. | A Study of Pathogenesis of<br>Lennox-Gastaut Syndrome-                       | Brain and Development<br>1 (3) : 192 (abstract)                               |
| Fukumoto, M.,<br>Mochizuki, N.,<br>Nomura, Y.,<br>Takeishi, M.,<br>Segawa, M.                | Study of Body Movement during<br>Night Sleep in infancy                      | Brain and Development<br>1 (3) : 210 (abstract)                               |

Mizuno, T., Ohta, R., Kodama, K., Kitazumi, E., Minejima, N., Takeishi, M., Segawa, M.	Polygraphic Study of Sleep and Self Mutilation in the Lesch-Nyhan Syndrome—	Brain and development 1 (3) : 211 (abstract)
Segawa, M., Nomura, Y., Hara, Y., Shimajiri, T., Miyagawa, F., Hachimori, K., Shinomiya, N.	Pathogenesis of Early infantile Autism	Brain and Development 1 (3) : 219 (abstract)
Shinomiya, N., Aoki, T., Nomura, Y., Segawa, M.	Chronic Neurogenic Muscular Atrophy inherited for three generations involving only females	Brain and Development 1 (3) : 239 (abstract)

1980年

四宮範明, 野村芳子 瀬川昌也, 矢田純一	小児重症筋無力症における T 細 胞のヘルパー, サプレッサー系の 機能異常について	日本小児科学雑誌 84 : 60 -64
瀬川昌也	睡眠中の体動と子供の病気	サイエンス (Scientific American 日本版) 4 : 86 -101
瀬川昌也	睡眠機構とその発達	小児科 21 : 441-453
瀬川昌也	小児の睡眠をめぐる諸問題	精神医学 22 : 491-499
瀬川昌也	錐体外路系の疾患ドーパミン系ニ ューロンの機能からみた病態生理	「新小児科学大系第13巻 C. 小児神経学Ⅲ」中山書 店 東京 pp 267-279

瀬川昌也	若年性パーキンソニズム	「新小児科学大系第13巻 C. 小児神経学Ⅲ」中山書 店 東京 pp 294-300
瀬川昌也	Gilles de la Tourette 症候群	「新小児科学大系第13巻 C. 小児神経学Ⅲ」中山書 店 東京 pp 325-336
四宮範明, 矢田純一	重症筋無力症患者 T 細胞による 抗アセチルコリン・レセプター抗 体産生の調節機能について	アレルギー 29 (11) : 962 -969
四宮範明	重症筋無力症の免疫学	小児内科 12 : 2621-2629
井草幸夫	小児重症筋無力症の誘発筋電図	小児内科 12 : 2631-2634
瀬川昌也	Werdnig-Hoffmann 病と Wohlfart-Kugelberg-Welander 病	小児内科 12 : 2553-2559
瀬川昌也	先天性ミオパチー	からだの科学 96 : 76-80
野村芳子	頭痛	小児科診療 43 : 2173- 2180
野村芳子	病変の局在診断錐体外路系小脳	「新小児科学大系第13巻 A. 小児神経学 I 中山書 店 東京 pp 227-255

1981年

瀬川昌也	有機リン	小児内科 12 : 1940-1943
野村芳子	Gilles de la Tourette 症候群	神経研究の進歩 25 : 62- 72
瀬川昌也	著明な日内変動を呈する遺伝性進 行性ジストニア	神経研究の進歩 25 : 73- 82

- |  |   |  |
|--|---|--|
| Fukumoto, M.,<br>Mochizuki, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.             | Studies of Body Movements during Night Sleep in Infancy               | Brain and Development<br>13 : 37-43  |
| Shinomiya, N.,<br>Segawa, M.,<br>Yata, J.                                | Lymphocyte Abnormalities in Myasthenia Gravis                         | In Myasthenia Gravis<br>-Pathogenesis and<br>Treatment ed. Satayoshi,<br>E. Univ. Tokyo Press,<br>Tokyo pp 249-265 |
| 瀬川昌也   | 筋ジストロフィー症に関する問題点, 概念および分類   | 脳と発達 13 : 242-248  |
| 瀬川昌也   | 脳の発達と脳内モノアミン  | 小児科診療 44 : 497-501   |
| 四宮範明, 瀬川昌也<br>矢田純一   | 筋ジストロフィー症患者末梢血単核球の Concanavalin A 結合能の異常について                          | 日本小児科学会雑誌 85 :<br>596-603  |
| 四宮範明, 矢田純一   | 重症筋無力症の経過と TG 細胞の機能-重症筋無力症の経過と TG 細胞の免疫グロブリン産生サブレッサー能および細胞障害能について-    | 日本臨床免疫学会会誌<br>4 : 187-194  |
| 野村芳子, 鈴木義之<br>長嶋和郎, 田中 薫<br>福岡和子   | Clinical Pathological Conference (C. P. C) 進行性運動障害を示した女児例             | 「小児神経学の進歩 第10集」日本小児神経学会卒後教育委員会編 診断と治療社 東京 pp 163-180   |
| Segawa, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Shinomiya, N.<br>Hosaka, A.,<br>Suzuki, Y. | Hereditary Progressive Dystonia (HPD) with Marked Diurnal Fluctuation | Brain and Development<br>3 : 223 (abstract)  |

- |  |   |  |
|--|---|--|
| Shinomiya, N.,<br>Honda, K.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.  | Killer activity of TG Cells from<br>children with Myasthenia Gravis         | Brain and Development<br>3 : 238                                     |
| 瀬川昌也   | てんかんと睡眠   | 小児内科 13 : 2119-2124  |
| Segawa, M.,<br>Shinomiya, N.,<br>Hosaka, A.,<br>Nomura, Y. | Disturbance of Sleep<br>— Wakefulness Rhythm in Early<br>Infantile Autism — | Folia Psychiatrica at<br>Neurologica Japonica<br>35 : 400 (abstract) |
| 瀬川昌也   | 小児神経疾患と不眠   | 「不眠—どうしたらよくな<br>むれるか—」遠藤四郎, 奥<br>平進之編 有斐閣 東京 pp<br>183-200           |
| 野村芳子, 瀬川昌也   | 小児の頭痛   | 「頭痛—診断と治療—」佐<br>野圭司監修 寺尾栄夫, 間中<br>信也編 現代医療社 東京<br>pp 212-223         |
| 瀬川昌也   | 小児の歩行異常   | 「起立, 歩行姿勢の異常」<br>上田英雄, 竹内重五郎, 豊倉<br>康夫編 南江堂 東京 pp<br>275-292         |

1982年

- |                                    |                                 |   |
|------------------------------------|---------------------------------|---|
| 瀬川昌也, 野村芳子<br>小木曾正勝, 吉原幸子<br>井川千鶴子 | 自閉症の病態生理からみた育児の<br>critical age | 厚生省心身障害研究 昭和<br>56年度研究報告書                   |
| 小木曾正勝                              | 小児救急治療のコツ, 意識障害                 | 治療 64 : 25-28                               |
| 瀬川昌也                               | Werdnig-Hoffman 病               | 日本臨牀 40 (増) 788-789                         |
| 加瀬正夫                               | パーキンソン病の臨床像                     | 「内科セミナー PNS 基底<br>核疾患」永井書店 大阪<br>pp 103-113 |



- |   |  |  |
|---|--|--|
| 瀬川昌也  | シジナム舞踏病  | 「内科セミナー PNS 基底核疾患」永井書店 大阪<br>pp 184-193  |
| 瀬川昌也  | (睡眠時) ミオクローヌス,<br>“restless legs” を伴う睡眠障害  | 「臨床症状シリーズ 睡眠障害」上田英雄, 島菌安雄,<br>竹内重五郎, 豊倉康夫編 南<br>江堂 東京 pp 184-198   |
| 吉原幸子, 小木曾正勝<br>野村芳子, 瀬川昌也<br>加瀬正夫   | 小児期の頭痛<br>— 発達神経学的考案 —   | 「Current concepts in<br>pain — 頭痛と炎症性疼痛 —<br>サンド薬品, 三共 (抄録)<br>pp 15-17  |
| Kondo, K.,<br>Nomura, Y.  | Tourette Syndrome in Japan :<br>Etiologic Considerations Based<br>on Associated Factors and<br>Familial Clustering                                   | “Gilles de la Tourette Syn-<br>drome” ed. A. J. Friedhoff,<br>T. C. Chase, Raven Press,<br>New York<br>pp 271-276, |
| Nomura, Y.,<br>Segawa, M.   | Tourette Syndrome in Oriental<br>Children : Clinical and<br>Pathophysiological Considerations  | “Gilles de la Tourette Syn-<br>drome” ed. A. J. Friedhoff,<br>T. C. Chase, Raven Press,<br>New York<br>pp 277-280  |
| Honda, K.,<br>Yokoyama, K.,<br>Wada, Y.,<br>Ogiso, M.,<br>Shinomiya, N.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M. | Blood Ammonia levels in<br>Children with Age Dependent<br>Epilepsy (3rd Report)  | Brain and Development<br>4 : 259 (abstract)  |
| Nomura, Y.,<br>Segawa, M.,<br>Honda, K.,<br>Ogiso, M.,<br>Hachimori, K.,<br>Kase, M.                  | Case Report of Boy with<br>Intermittent Blepharoptosis,<br>Ophthalmoplegia, Ataxia and<br>slow eye movement—Multiple<br>Sclerosis or a New Disease?— | Brain and Development<br>4 : 282 (abstract)  |

Segawa, M.,  
Nomura, Y.,  
Ogiso, M.,  
Shinomiya, N.,  
Honda, K.,  
Yoshihara, S.,  
Kase, M.

Steroid Therapy on Fukuyama  
Type Congenital Muscular  
Dystrophy in Effective on the  
CNS Pathology

Brain and Development  
4 : 301 (abstract)

瀬川昌也

特集小児神経学の展望自閉症への  
小児神経学的アプローチ-睡眠障  
害の病態生理からの考察-

発達障害研究 4 : 184-197

1983年

野村芳子

血管性頭痛 (偏頭痛)

小児内科 15 (1) : 65-70

瀬川昌也, 井川千鶴子  
小木曾正勝

睡眠の発達と無呼吸

小児内科 15 (4) : 535-  
540

野村芳子

小児の痙攣

治療 65 : 391-396

Segawa, M.

Catecholamine Metabolism in a  
Neurological Disease in  
Childhood

"Topics in Child  
Neurology" ed. Wise  
Spectrum, New York  
pp 135-150,

Tanabe, M.,  
Goto, M.,  
Igawa, C.,  
Ogiso, M.,  
Nomura, Y.,  
Segawa, M.,  
Kase, M.,  
Sato, K.

A Clinical and Neurological Study  
of The Dysraphic State

Brain and Development  
5 : 167 (abstract)

- |  |   |   |
|--|---|---|
| Ogiso, M.,<br>Igawa, C.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.  | Polysomnographical Study on<br>Patients with Prader-Willi<br>Syndrome—  | Brain and Development<br>5 : 169 (abstract) |
| Segawa, M.,<br>Igawa, C.,<br>Tanaka, S.,<br>Ogiso, M.,<br>Matsumoto, J.,<br>Nomura, Y.,<br>Kase, M.            | Pathogenesis of early Infantile<br>Autism (EIA) (part 2)  | Brain and Development<br>5 : 220 (abstract) |
| Tanaka, S.,<br>Igawa, C.,<br>Honda, K.,<br>Matsumoto, T.,<br>Ogiso, M.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.           | Computed Tomographic Scan<br>Findings in Early Infantile<br>Autism and Autistic Syndrome<br>—The Pathophysiological Impor-<br>tance of Mesial Temporal Struc-<br>tures— | Brain and Development<br>5 : 221 (abstract) |
| Nomura, Y.,<br>Igawa, C.,<br>Ogiso, M.,<br>Segawa, M.,<br>Kase, M.,<br>Shinomiya, N,                           | A Study on Pathogenesis of<br>Childhood Myasthenia Gravis   | Brain and Development<br>5 : 240 (abstract) |
| Honda, K.,<br>Nomura, Y.,<br>Ogiso, M.,<br>Igawa, C.,<br>Kase, M.,<br>Kimura, S.,<br>Misugi, N.,<br>Segawa, M. | A case of Continuous<br>Muscle Contraction  | Brain and Development<br>5 : 250 (abstract) |

- |   |  |  |
|---|--|--|
| Tanaka, S.,<br>Nomura, Y.,<br>Segawa, M.,<br>Sumie, H.,<br>Kuru, H. | Epileptic seizure with rotational<br>behavior in Tuberous Sclerosis<br>—Pathophysiological<br>consideration— | Folia Psychiatrica at<br>Neurologica Japonica 37 :<br>331—322                            |
| 野村芳子  | 麻痺   | 「新小児医科学大系41A」<br>中山書店 東京 pp 171—<br>188  |
| 野村芳子  | 小児の頭痛  | 「臨床神経科学1 (3)」  |
| 瀬川昌也  | 自閉症の病態生理に関する研究   | 厚生省心身障害研究「母子<br>相互作用の臨床的, 心理・<br>行動科学的ならびに社会小<br>児科学的意義」に関する研<br>究研究報告書 : pp 277—<br>293 |

### 3. SNCC(Segawa Neurological Clinic for Children) 学术集会

#### 1976年

3/12	O. Hanson (University of Göteborg, Göteborg, Sweden)	Discussion on congenital muscular dystrophy
	S.M. Chou (West Virginia, U.S.A.)	Clinico-pathological conference
9/ 4		Leigh's disease
11		Aminoaciduria
18		Pelizeus-Meltzbacher disease
		Cockayne disease
25		Leukodystrophy
10/ 2		Kuf's disease
16		Ramsay-Hunt syndrome
23		Leigh's disease
11/11		Spongioblastoma polare
20		Motor neurone disease
12/11		Tuberous Sclerosis
18		Adrenoleukodystrophy

#### 1977年

7/ 4	R.A. Ouvrier (The Children's Hospital Australia)	Some benign paroxysmal disorders
------	--	----------------------------------

7/10 V. Dubowitz  
(University of London,  
London, England) Discussion on Clinical Features of  
Fukuyama Type Congenital Muscular  
Dystrophy

I. Gamstrop  
(Akademiska Sjukhuset,  
Uppsala, Sweden)

R.A. Ouvrier  
(The Children's Hospital  
Australia)

1978年

2/12 K.M. Chen  
(NINCDS Research Center,  
Guam) Amyotrophic lateral sclerosis and  
Parkinson-Dementia complex in Guam

C.D. Gajdusek  
(NIH, Bethesda) Kuru's disease

T.N. Chase  
(NIH, Bethesda) Discussant

9/ 2 O. Petre-Quadens  
(University of Antwerp,  
Antwerp, Belgium) Development of rapid eye movement and  
its importance for indicator of mental  
retardation

11/10 C.D. Clement  
(Brain Research Institute  
UCLA, Calif., U.S.A.) Forebrain mechanism in sleep

1979年

7/25 W.F.H.M. Mommaerts  
(UCLA, Los Angeles) The neurogenic influence upon  
the differentiation of muscle

7/29 SYMPOSIUM : Sleep and Development  
Contributors :

J.I. Adrien  
(Pitie – Salpetriere,  
France)

M. Corner  
(Netherland Institute  
for Brain Research,  
Amsterdam)

D.J. McGinty  
(UCLA, Los Angeles,  
California)

O. Petre – Quadens  
(University of Antwerp,  
Antwerp, Belgium)

M.B. Sterman  
(UCLA, Los Angeles,  
California)

Torii, S.  
(Toho University  
School of Medicine,  
Tokyo)

Segawa, M.  
(SNCC)

- |       |   |   |
|-------|---|---|
| 11/15 | O. Eeg – Oloffson<br>(University of<br>Kinkoping, Sweden)                 | Pathogenesis of childhood epilepsy                |
| 17    | L. Dubowitz<br>(University of London,<br>Hammersmith Hospital,<br>London) | Developmental study of preterm and<br>term babies |
|       | V. Dubowitz<br>(University of London,<br>Hammersmith Hospital,<br>London) | Pathogenesis of congenital muscular<br>dystrophy  |

- 11/19 I. Gamstrop Pathogenesis of infantile spasms  
(University  
Hospital, Uppsala,  
Sweden)
- 22 H.G. Lenard Congenital muscular dystrophy  
(University of  
Düsseldorf, Düsseldorf,  
West Germany)

1981年

- 1/28 P. Naitoh ねむけの生理学  
( Naval Health  
Research Center  
San Diego, California)
- 5/ 6 O. Abramsky Importance of alpha fetoglobulin  
(Hebrew University in human myasthenia gravis  
Hadassah Medical  
School, Jerusalem,  
Israel)
- 7/22 Alan Hobson Physiology of sleep:importance  
(Harvard Medical of the giant cellular area of  
School, Boston, U.S.A.) tegmentum
- 7/24 R. Hassler Discussion on dystonia of childhood  
(Max-Planck-Institut Case conference  
für Hirnforschung,  
Frankfurt, Germany)
- 9/25 R.A. Ouvrier 1) Peripheral neuropathy of childhood  
(The Children's Hospital 2) Infantile botulinus intoxication  
Australia)
- 9/29 S.M. Chou Reappraisal of the neuropathology of  
(West Virginia,U.S.A.) multiple sclerosis



- |       |   |   |
|-------|---|---|
| 10/ 1 | S.H. Appel  | Recent progress in experimental research on Myasthenia Gravis |
| 11/ 6 | D. Cohen<br>(Child Study Center,<br>Yale University,<br>Conn. U.S.A.) | Clonidine treatment of Gilles de la Tourette syndrome         |
| 25    | 日暮 真  | 染色体診断, 最近の進歩  |
|       | 増本 義  | 周産期医療の使命の進歩, 地域医療の実際  |

1982年

- |       |   |  |
|-------|---|--|
| 6/30  | W.W. Hall   | M-protein in subacute sclerosing panencephalitis |
| 11/13 | G.B. Stickler<br>(Mayo Clinic, U.S.A.)                            | Stickler syndrome—bone diseases in childhood     |
| 15    | A. Freedman<br>(Neurological<br>Associates of Tucson,<br>Arizona) | Headache   |

1983年

- |      |  |   |
|------|--|---|
| 6/ 4 | E.M. Ornitz<br>(U.C.L.A., U.S.A.)  | 1) Age dependence of the symptomatology in infantile autism<br><br>2) The functional neuroanatomy of infantile autism |
| 7/ 4 | H.P. Schmitt<br>(Prof. of neuropathology,<br>University of Heidelberg,<br>Germany) | Brain stem glioma in infancy and childhood  |
| 27   | 糸賀 毅子  | 中枢神経系におけるレセプターの形態学的研究   |

- |       |   |   |
|-------|---|---|
| 10/18 | A. Vejjajiva<br>(Ramathibodi Hospital<br>Bangkok, Thailand)   | Acute inflammatory polyradiculo<br>neuronopathy   |
| 24    | T.A. Sears<br>(Sobell Department of<br>Neurophysiology, Institute of<br>Neurology, London, England) | Neurophysiology of the demyelination  |
| 11/ 3 | 10 th Anniversary Symposium of Segawa Neurological Clinic for Children<br>(損保会館)                    |   |
| 7     | D.S. Caviness, Jr.<br>(Massachusetts<br>General Hospital,<br>Boston)                                | Discussion on congenital muscular<br>dystrophy, childhood dystonia and<br>Rett syndrome |
| 8     | V.M. Riccardi<br>(Baylor College of<br>Medicine Houston,<br>Texas)                                  | Neurofibromatosis   |
| 10    | O. Eeg-Oloffson<br>(University of<br>Linkoping, Sweden)   | Discussion on Rett syndrome   |

## V. その他

### 1. 諸会

- 1) 抄読会 毎週水曜日瀬川小児神経学クリニックにて開かれる。
- 2) CT Conference 毎月1回火曜日順天堂大学医学部放射線科にて開かれる。

### 2. 図書

- ・ 和書（雑誌製本を含む） 169 冊
- ・ 洋書（ ” ） 800 冊
- ・ 雑誌 和文 11 種  
欧文 33 種

3. 名簿（昭和48年～昭和58年10月）（\*：非常勤）

医 師	保 坂 暁 子	心理相談	松 井 と し
	谷 村 玲 子		上 野 一 彦*
	彦 坂 興 秀*		望 月 伸 子*
	横 地 房 子		大 橋 妙 子*
	瀬 尾 威 久*		村 田 由 紀*
	八 森 啓 夫*		片 岡 逸 子*
	赤 池 アンネローゼ*		竹 石 正 博*
	水 谷 正 興		岩 崎 千 恵 子*
	館 野 明 彦		馬 場 教 子*
	四 宮 範 明		福 本 美 紀 子*
	鈴 木 洋		麻 生 明*
	保 坂 シゲリ		小 林 雅 子*
	本 多 一 恵		丸 山 敦 子*
	小 木 曾 正 勝		
	日 原 真 理 子*	理学療法	斉 藤 ま り 子*
	高 江 洲 悦 子*		新 保 泰 子*
	門 脇 広 子*		
	吉 原 幸 子	薬 剤 師	長 島 富 美 子
	後 藤 実 千 代*		千 葉 照 子*
	田 辺 雄 三*		武 居 節 子*
	中 村 仁 夫*		店 橋 弓 子*
	長 谷 川 正 子		佐 藤 し げ 子*
	田 中 茂 樹	看 護 婦	庄 司 澄 子*
	増 本 義 夫		
	荻 野 千 鶴 子 (旧姓井川)	医 療 事 務	永 松 貢 治
	多 田 博 史		町 田 八 重 子
	米 沢 美 保 子		石 綿 君 江
	馬 島 順 子 (旧姓渡辺)		村 木 信 男
	伏 島 容 子 (旧姓島田)		鈴 木 佐 知 子
	斉 藤 能 厚*		江 里 口 裕 子
	神 山 潤 夫*		市 橋 典 子*
生化学検査	柳 沼 芳 子 (旧姓原)		
	島 尻 奉 子		
(指導)	宮 川 富 三 雄*		
	石 井 佳 代 (旧姓横山)		
生理学検査	鈴 木 淳 子		
	藤 本 正 昭*		
	井 草 幸 夫*		

(昭和58年11月現在) (\*:非常勤)

医 師 瀬川 昌也  
野村 芳子  
加瀬 正夫  
袴田 享  
永田 映子  
星野 千代江\*  
相原 正男\*  
山田 和孝\*  
於保 祐子(旧姓岡村)  
日暮 真\*

生化学検査(指導)竹本 裕美\*  
(〃)小平 治良\*  
中井 裕子(旧姓和田)  
雪下 昌子

生理学検査(指導)山下 勝幸\*  
五十畑 順子  
坂本 光男  
岡 七重

心理相談 越智 智子\*  
小林 桂子\*  
畑 けい子\*

言語相談 杉下 守弘\*

薬剤師 新井 弘子\*

看護婦 斉藤 サタノ  
林原 久美子  
大久保 正美

医療事務 楠生 昌弘  
金子 美恵子  
小川 房江  
佐藤 裕子  
武本 穂都枝\*

秘書・英文監修 Anna M. Benis

---

瀬川小児神経学クリニック

10年のあゆみ

昭和48年～昭和58年

編集・発行 瀬川小児神経学クリニック  
東京都千代田区神田駿河台2-8  
電話 03-294-0371

監 修 江里口 裕 子

印 刷 菅原印刷株式会社

---